

官報

號外 昭和九年二月二十三日

○第六十五回 衆議院議事速記録第十六號

昭和九年二月二十二日(木曜日)

午後一時二十四分開議

議事日程 第十五號

昭和九年二月二十二日

午後一時開議

第一 輸出組合法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第三 裁判所構成法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第四 營業收益稅法中改正法律案(小林鑄君外二名提出) 第一讀會

第五 司法保護法案(小林鑄君外六名提出) 第一讀會

第六 民族優生保護法案(荒川五郎君外一名提出) 第一讀會

第七 農村救濟負擔均衡法案(清瀬一郎君外四名提出) 第一讀會

第八 地方財政補整交付金法案(岡田忠彦君外十四名提出) 第一讀會

第九 計理士法中改正法律案(世耕弘一君外二名提出) 第一讀會

第十 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(栗原彦三郎君外十二名提出) 第一讀會

第十一 百貨店法案(野田文一郎君外二名提出) 第一讀會

第十二 大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(野田文一郎君外二名提出) 第一讀會

第十三 司法代書人法中改正法律案(立川平君外二名提出) 第一讀會

中改正法律案(天辰正守君外一名提出) 第一讀會

第二十四 農業保險法案(高田耘平君外五名提出) 第一讀會

第二十五 簡易森林火災保險法案(小山邦太郎君外十七名提出) 第一讀會

第二十六 漁船保險法案(工藤鐵男君外三名提出) 第一讀會

第二十七 刑事訴訟法中改正法律案(原夫次郎君外十三名提出) 第一讀會

第二十八 刑法中改正法律案(作田高太郎君外十三名提出) 第一讀會

第二十九 借地借家調停法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出) 第一讀會

第三十 小作調停法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出) 第一讀會

第三十一 民事訴訟法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出) 第一讀會

第三十二 陪審法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出) 第一讀會

第三十三 產業組合法中改正法律案(風見章君提出) 第一讀會

第三十四 決議案(南滿洲鐵道株式會社改造ノ件)(小池四郎君提出) 第一讀會

第三十五 決議案(內閣不信任ノ件)(安達謙藏君外二名提出) 第一讀會

○議長(秋田清君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記官朗讀) 一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

衆議院議員選舉法中改正法律案

大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)

(以上二月二十二日提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

所得稅法中改正法律案

提出者 大口 喜六君 松岡 俊三君

(以上二月二十一日提出)

北海道東部ニ高等農林學校設置ニ關スル建議案

提出者 木下成太郎君 尾崎 天風君

三井 德寶君

豐橋市外三郡內原野國營開墾ニ關スル建議案

提出者 近藤壽市郎君

輸入養雞飼料取扱ニ關スル建議案

提出者 近藤壽市郎君

小笠原三九郎君

(以上二月二十日提出)

校外教護施設ニ關スル建議案

提出者 蔭山 貞吉君 中井 一夫君

青木雷三郎君 立川 平君

畑七右衛門君 小林 絹治君

喜多 孝治君 多木久米次郎君

校外教護施設ニ關スル建議案

提出者 荒川 五郎君 栢谷 寅吉君

一松 定吉君 竹田 儀一君

沼田嘉一郎君 內藤 正剛君

中山 福藏君 吉川吉郎兵衛君

松田竹千代君 前田房之助君

原 淳一郎君 野田文一郎君

多田 滿長君 山根 儀重君
武知 勇記君 手代木隆吉君
東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所
獨立ニ關スル建議案
提出者

加藤 知正君 高田 紘平君
山本 慎平君 山根 儀重君
山下 谷次君 増田 義一君
荒川 五郎君

雪國地帯ノ鐵道敷設速成ニ關スル建議案
提出者 八田 宗吉君

野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案
提出者 八田 宗吉君

八田 宗吉君 戸田 虎雄君
船田 中君 佐藤洋之助君
湘南鐵道建設ニ關スル建議案
提出者 八田 宗吉君

柳津野澤間及坂下喜多方間鐵道敷設ニ關
スル建議案
提出者 八田 宗吉君

磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園指
定ニ關スル建議案
提出者 八田 宗吉君

(以上二月二十一日提出)

一 去二十日齋藤內閣總理大臣ヨリ左ノ通發
令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

逓信省郵務局長 久基 茂

逓信省電務局長 山本直太郎

逓信省船舶局長 淺野 平二

逓信省航空局長 片岡 直道

第六十五回帝國議會逓信省所管事務政府
委員被仰付

一 去二十日辭任シタル常任委員左ノ如シ

第一部選出請願委員 江藤源九郎君

一 去二十日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如

シ
地租法中改正法律案(松岡俊三君外四十
二名提出)外三件委員
辭任内ケ崎作三郎君 補闕村松 久義君
一 昨二十一日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ
如シ

第一部選出
請願委員 中野種一郎君(江藤源九郎
君補闕)

一 昨二十一日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ
如シ
製鐵所特別會計法廢止法律案(政府提出)
委員

辭任藤田 若水君 補闕本田彌市郎君
鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)委員
辭任津雲 國利君 補闕一瀬 一二君
五大都市ニ特別市制實施ニ關スル法律案
(中井一夫君外六名提出)外一件委員

辭任伊藤仁太郎君 補闕林 路一君
辭任鈴木 英雄君 補闕田中喜代松君
辭任松永 東君 補闕手代木隆吉君
辭任川橋豐治郎君 補闕坂東幸太郎君

○議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマ
ス、御諮リ致スコトガゴザイマス、鐵道敷
設法中改正法律案委員會、健康保險法中改
正法律案外一件委員會、民事訴訟法中改正
法律案外一件委員會、及び原憲種管理法案
委員會ノ各委員長ヨリ、本日本會議中委員
會ヲ開キタイトノ申出ガアリマシタ、之ヲ
許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メ許可
スルニ決シマシタ——砂田重政君及ビ戸田
由美君ヨリ議事進行ノ發言ヲ求メラレテ居
リマス、砂田君ノ議事進行ノ發言ハ、政府

ニ對シ追加豫算提出方要求ニ付テトノコト
デアリマス、又戸田君ノ議事進行ノ發言ハ、
本日ノ議事ノ順序ニ付テトノコトデアリマ
ス、順次其發言ヲ許シマス——砂田重政君

〔砂田重政君登壇〕

○砂田重政君 此ハ此機會ニ議長ヲ通シテ
政府ニ御答辯ヲ煩シタイト存ズルノデアリ
マス、既ニ委員會其他ニ於テハ、度々政府
ニ質問ヲ致シ、政府ノ答辯ヲ要求シタ事柄
デゴザイマスガ、此議會開會以來、殊ニ豫
算ノ審議ニ當リマシテ、今期議會ニ提案ヲ
セラルベキ重大ナル國策、政策ニ關スル問
題ニ付キマシテ、吾々ノ要望ヲ致シタ點モ
アリマス、又政府ヨリ進ンデ其提案ヲ聲明
サレタモノモアリマス、然ルニ爾來其政府
ノ提案ハ、遲々トシテ殆ド見ルベキモノガ
ナイノデアリマス、承レバ總理大臣ニハ病
氣引籠リ中ト云フコトデアリマス、又農林
大臣モ、御病氣ノ爲ニ引籠ラレテ居ルト云
フコトデアリマスルガ、斯様ナ爲ニ政府ノ
提案セラルベキ幾多ノ法律案、追加豫算等
ガ遲延ヲ致シテ、既ニ會期ノ三分ノ二ヲ過
ギル今日、尙ホ其提案ヲ見ルニ至ラナイト
云フ理由デアリマスルナレバ、政府ハ宜シ
ク進ンデ、此大臣ニ代ルベキ適當ナル處置
ヲナサル必要ガアルト存ズルノデアリマス
(拍手)又斯様ナ支障ナシト致シマスルナレ
バ、少クモ國民ノ生活ニ即シ、實生活ニ
即スル重大ナ法律案、追加豫算ハ、既ニ去
ル二月十二日ノ豫算總會ノ席上ニ於テ、不
日提案ヲスルト云フ誓約ヲナサツタ政府ニ
於テ、一日モ速ニ之ヲ此議會ニ提案サレナ
クレバ、相成ラヌト存ズルノデアリマス、
申ス迄モナク豫算委員會ニ於テ政府ノ聲明

セラレタ點ノ第一ハ、米ニ對スル對策ニ付
テ、適當ナル法律案ヲ提案ヲスルト云フ明
言ヲサレタノデアリマス、又蠶絲ニ對スル
對策及ビ農業土木ニ對スル對策、是等ノ問
題ニ付テハ、コ、數日ヲ出デズシテ、其案
ハ提案ヲサル、ガ如キ言葉ヲ、公ノ席及ビ
私ノ席ニ於テ、吾々ハ承テ居タノデゴ
ザイマスガ、以來既ニ十日以上經過致シテ
居リマス今日、尙ホ其中ノ一ヲ見ルコトガ
出來ナイノデアリマス、豫算總會ノ席上ニ
於テ、吾々ノ同僚大口喜六君ヨリ要望サレ
マシタル、朝鮮總督府ノ増稅ニ付ベキ法
律ノ改正案ハ、是非共出サナケレバナラヌ
ト云フコト、是亦政府ニ於テ、豫算會議ニ
於テ聲明セラレ、速ニ其提案ヲ希望スルト
云フコトハ、大口君ニ依テ繰返サレテ申述
ラレタノデアリマス、産業施設ニ付テハ、
商工關係ニ於ケル重要輸出品ノ統制ニ關ス
ル對策モ、御提案ニナルヤニ拜承致シテ居
ルノデアリマス、又吾々ノ同僚ヨリ豫算總
會ニ於テ要望致シマシタ、肥料國策ノ對策
モ提案ヲ要望致シテ居ルノデゴザイマス、然
ルニ是等何レノ點ニ對シテモ、未ダ一點ノ
提案ヲ見ルコトヲ得ズ、議院ニハ、此國民
全體ノ要望、殊ニ最近ニ於ケル情勢ハ、
農村ニ對スル幾多ノ對策、之ニ付テ日々幾
多ノ請願或ハ陳情ノ爲ニ、全國ヨリ殺到シ
テ居ル此農民ノ窮狀ニ對シテ、一モ其提案
ヲ見ザルコトハ、國民ヲシテ一層不安ノ念
ヲ深カラシムルモノト存ズルノデアリマス
(拍手)吾々ハ一日モ速ニ其提案ヲ見タイト
存ズルノデアリマスガ、政府ハ之ニ對シテ
如何ナル所見ヲ御持チニナツテ居ルカ、國民
同盟ヨリ不信任案ヲ提出サレマシテ、日々
日程ヲ變更シテモ之ヲ上程スベシト云フコ

ト御要求ニナッテ居ル(「ヒヤ」)其通
リ「ト呼フ者アリ」吾々ハ唯内閣ヲ倒スト云
フコトヲ、唯一ノ目標ニスルモノデハアリ
マセヌ(拍手)一日モ速ニ國民ノ實生活ニ、
安定ノ得ラル、對案ノ成立ヲ見シコトヲ熱
望シテ已マナイノデアリマス(拍手)其能力
ナシト呼フ者アリ「吾々ハ之ヲ熱望スルノ
餘リ、豫算會議ノ當時ニ於テモ屢、此事ヲ
繰返シタ、併シ此何レノ提案モ爲サラナイ
ト云フコトニナレバ、吾々モ亦國民同盟同
様ニ、決心ヲシナケレバナラヌト存ズルノ
デアリマス(拍手)併ナガラ未ダ其提案アル
ヤ否ヤト云フコトヲ明ニシナイデ、唯徒ニ
不信任案ヲ茲ニ上程シテ、若シ之ヲ否決シ
タ後ニ、政府ノ提案ヲ見ザル場合ニハ、再
ビ不信任案ヲ提案スルコトハ、一事不再理
ニ依テ許サレマセヌ(拍手)此重大ナル國
民同盟ノ提案サレタル不信任案ノ贊否ヲ決
スルコトハ、先ヅ此國民ノ生活ニ關スル問
題ヲ提案スルヤ否ヤト云フコトガ分ッテ、初
メテ決マルト思フノデゴザイマス(拍手)隨
テ吾々ハ此點ニ對シテ、少クトモ政府ノ誠
意アル答辯ヲ、議長ヲ通ジテ政府ニ之ヲ要
求シ、願ハクハ本日ノ此本會議ノ終ル迄
ニ、政府ヲ代表サレル人カラ、此點ニ對ス
ル明確ナル御答辯ヲ得タイト存ズルノデア
リマス(拍手)吾々ハ此意味ニ於テ、茲ニ貴
重ナル時間ヲ特ニ御許シテ願ヒマシテ、議
事進行ノ發言ヲ致シタ次第デゴザイマスル
カラ、ドウカ繰返シテ申シマス、本日ノ本
會議ノ終ル迄ニ、政府ノ責任アル人ヨリ、
明確ナル御答辯ヲ要求致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 砂田君ニ御答ヲ致シマ
ス、只今御發言ノ御趣意ハ、議長ヨリ遲滯
ナク政府ニ傳達致シマス、但シ國務大臣及
ビ政府委員ハ、當席ニ列セラレテ居ルノデ
アリマスカラ、御發言ハ直接聴取ラレタ次
第デアリマスルノデ、此際アナタノ御發言
ニ對シ、直ニ政府ハ御答ニナルヤモ測リ難
イノデアリマス——只今三土鐵道大臣ヨリ
發言ヲ求メラレマシタカラ、此場合ニ於テ
之ヲ許シタイト思ヒマス、蓋シアナタノ御
尋ニ對シテ御答ガアルコトデアラウカノヤ
ウニ、議長ハ考ヘルノデアリマス(笑聲)
——三土鐵道大臣
(國務大臣三土忠造君登壇)
○國務大臣(三土忠造君) 只今ノ砂田君ノ
御質問ニ對シマシテ、政府ヲ代表シテ、便
宜私ヨリ御答申上ゲマス、先般豫算總會ノ
席上ニ於キマシテ、總理大臣ヨリ政府ノ所
見ヲ聲明致シマシタノデアリマスルガ、即
チ諸君ヨリモ御要求ガアリマシタル米穀對
策、蠶絲業ノ對策及ビ農村土木事業、其他
追加豫算トシテ協賛ヲ求ムベキモノ、及ビ
法律案トシテ提出スベキモノヲ、不日提出
致シマス云フコトヲ申上ゲタノデアリマ
ス、而シテ其大綱マデ申述ベテ置イタノデ
アリマスルガ、只今砂田君ガ仰シヤリマシ
タ通り、丁度其後農林大臣ガ病氣ニ罹ラ
レ、總理大臣モ病氣ニ罹ラレマシタノデ、
少シ遲延致シマシテ、洵ニ相濟マヌト考ヘ
テ居リマス、政府ニ於キマシテハ出來ルダ
ケ早ク出サウト思ヒマシテ、大體成案ヲ得
テ居リマス、殊ニ追加豫算ハ出來上テ居ル
ノデアリマスルガ、農林大臣ガモウ一兩日
中ニ出テ參リマスカラ、ソコデ閣議ヲ決定
シテ、議會ニ提案スル積リデアリマス、法
律案モ引續キ遲レズニ提案スル計畫デアリ
マス、左様御承知ヲ願ヒマス(拍手)
○議長(秋田清君) 戸田由美君

(戸田由美君登壇)
○戸田由美君 私人極メテ端的ニ、率直
ニ、且ツ出來得ル限り簡單ニ、議事進行ニ
關スル要旨ヲ申述ベマシテ、議長竝ニ與黨
ノ諸君ノ、深甚ナル御考慮ヲ求メタイト思フ
ノデアリマス(拍手)私ノ發言ハ一昨二十日、
本議場ニ於キマシテ、同僚議員清瀬一郎君
ガ繰返シ申述ベマシタ事ニ、牽聯ヲ致シテ居
ルノデアリマス、即チ議長ハ何故ニ議事ヲ審議
スル餘裕アルコトヲ見ナガラ、我黨ガ提出致シ
マシタ現齋藤內閣不信任案ノ上程ニ對シマ
シテ、熱意ヲ持タレナイカ、與黨ノ諸君モ
亦之ニ對シテ、何故ニ動モスレバ吾々ノ提
案上程ヲ阻止セントスルガ如キ行動ニ出ラ
レルカト云フコトニ付キマシテ、議長竝ニ
各位ノ考慮ヲ求メマシテ、速ニ本日ノ議場
ニ之ヲ上程セラレンコトヲ、申述ベタイト
思フノデアリマス(拍手)只今砂田君ノ議事
進行ニ關スル御發言ヲ承リマシテ、私ハ實
ニ驚キ入ラザルヲ得ナイノデアリマス、政
友會モ民政黨ノ諸君モ、場合ニ依リマスレ
バ、與黨タル立場ヨリ敢然トシテ脱出致シ
マシテ、現齋藤內閣ニ對シテ、國民同盟ノ
諸君ト共ニ其行動ヲ一ニ致シテ、現內閣ノ
不信任ヲ表明スルカモ分ラナイガ、唯徒ニ
國民同盟ガ現內閣倒壊ヲ目的トスル不信任
案ニハ共鳴ハ出來得ナイ、國民ノ實生活ニ
即シテ政府ノ政策ノ提案ヲ見タル上ニ、諸
君ノ態度ヲ御決定セラル、ト云フコトデア
リマス、之ニ對シテ政友會ハ拍手ヲセラレ
マシタ、民政黨ノ諸君モ、何等御發議ガナ
イノデアリマス、國民ノ實生活ニ即スル政
策ノ提出ヲ見タル上ニ於テ、諸君ガ現內閣
ニ對スル態度ヲ御決定セラル、ト云フコト
ハ、今日之ヲ聞クニ至ッテ實ニ驚キ入ラザル

ヲ得ナイノデアリマス(拍手)
諸君、農林豫算或ハ蠶絲業對策、米穀政
策ニ對シテ、與黨タル諸君ガ、現內閣ニ最
モ時代ニ適切ナル所ノ提案ヲセヨト御要求
ニナッタルハ、決シテ去ル十三日ノ豫算ノ決
定當日ニ、諸君ガ附帶決議セラレタル希望
條件ヤ、其他ノ事實ニ端ヲ發シタノデハア
リマセヌ、「ヒヤ」(拍手)昨午議會終了
致シマシタ同時ニ、政府ハ議會ノ協賛ヲ經
マシタ豫算ノ實行ニ於テ、更ニ續イテ明年
度ノ政策實行ニ關シマシテ、政府當局ノ責
任ニ向ッテ十分努力致スベキデハナイカト
私ハ考ヘル、之ニ對シテ政府與黨ノ諸君モ
亦、去ル六十四議會ニ決議セラレマシタ政
府ノ諸案ニ不滿ノ意ヲ表セラレマシテ、希
望附帶決議マデ附隨セシメテ居ル以上ハ、
與黨タル立場ニ於テ政府ヲ督勵シ、諸君ガ
代表的ニ出サレマシタ各省ノ閣僚ヲ通ジ
テ、政民諸君ノ意ノアル所ヲ明年年度豫算實
行ノ上ニ於テ現ハシマシテ、以テ國民ノ期
待ニ副フベキ態度ニ出デラルベキガ當然デ
ハアリマセヌカ(拍手)是アルガ爲ニ政府ハ
五相會議ヲ開キ(簡單々々)續イテ內政會
議ヲ開イテ、今期議會ニ臨ンダノデアリマ
ス、而シテ本豫算ハ提出セラレマシタ、追
加豫算ニ國民ノ實生活ニ即スル問題ガ、唯
獨リ含マレルト云フコトハ言ヒ得ナイノデ
アリマス、本豫算コソ、即チ國民ノ實生活
ニ即スベキ種々ナル政策ヲ實現スベキモノ
デハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス(拍
手)此本豫算ニ對シテ、諸君ハ既ニ不満足
ノ意ヲ表セラレ、各自ノ代表セラレタル國務
大臣ノ議ニ與カリマシタ豫算ニ對シマシテ、
不満足ノ意ヲ表セラレマスル以上ハ、茲ニ
追加豫算ノ區々タル末節ノ提案ヲ見ルマデ

モナクシテ、敢然私共ト現内閣ニ對スル不信任ノ意ヲ、國民ニ表明スベキモノデアルト私ハ信ズルノデアリマス（拍手）

諸君、私は是レ以上斯ル問題ニ付テハ申述ベマセヌ、唯砂田君ハ、私共ガ徒ニ現内閣倒壊ヲ目的トシテノ不信任案ダト言ハレマシタノデアリマスルガ、是非常ニ違テ居ルト云フコトヲ申上ゲナケレバナリマセヌ、私共ノ提案ノ趣旨精明ニ依テ御覽下サルコトヲ得ラレル通り、吾々ハ最近突發致シマシタヤウナ臨時ノ事柄ヤ、其他追加豫算ヲ提出スル次第ト云フヤウナ事柄ニ即シテ、現内閣不信任案ヲ提出シテ居ルノデハゴザイマセヌ、即チ組閣二年ニ垂ント致シマスル現内閣ノ實績ヲ見マシテ、昨年ノ議會ニ於ケル政府ノ提案ヲ見マシテ、而シテ其後ニ於ケル種々ナル情勢ヲ觀察致シマシテ、現内閣ニ六十五議會ヲ委セルコトハ、絕對ニ國民ノ實生活ニ於テ無益有害ナリトノ根本觀念ニ立脚致シテ居ルノデアリマス（拍手）故ニ私共ノ提案ニ對シテ、徒ニ倒壊ヲ目的トスルガ如キ御批判ノアルト云フコトハ、甚ダ心外千萬ニ存ズルノデアリマス

諸君ハ口ヲ極メテ政黨政治ノ信用回復ヲ論議セラレテ居ルノデアリマス、又議會政治ノ權威維持ニ付テ力説セラレテ居ルノデアリマス、然ラバ私ハ申上ゲタイ、政黨政治ノ信用ヲ確保シ、議會政治ノ權威ヲ維持スルニ於テハ、何故ニ唯一在野黨タル吾々同志ノ決議案ニ付テ、十分ノ審議ヲナサレヌカ、在野黨タル我ガ國民同盟ガ何故ニ現内閣ニ信頼セヌカト云フコトノ審議ヲ盡サシテコソ、初メテ政黨政治、議會政治ノ權威信用ハ維持セラル、モノト思フノデアリマス（拍手）私ハ此場合ニ政

民兩黨ノ諸君ノ、更ニ深甚ナル御考慮ヲ願ヒタイ、諸君ガ吾々ノ不信任案提出ニ御賛成ヲ下サテ、之ヲ審議スレバ、其内容ノ精明ニ於テ、現内閣ハ一日モ存在スルコトノ出來得ナイ情勢ニ陥ルノデアリマス、果シテ然ラバ、今日世間ノ驚々タル非難、政黨政治ノ信用失墜、議會政治ノ權威墜落ニ關スルヤウナ審査會モナクシテ済ムノデアリマス、其審査會ニ於ケル一件書類及ビ議員ノ發言ニ依テ、社會ニ暴露スルヤウナ事實モ、或ハ暴露ヲ免レタカモ分ラナイノデアリマス、私ハ徒ニ臭イ物ニ蓋ヲシヨウト

ハ思ヒマセヌ、徹底的ニ不義不正ヲ糾弾スベキガ當然デアリマスルガ、議會ノ職責ハ、議會ノ權威ハ、議場外ヤ司法權ノ發動ナドニ依テ、議員及ビ議會ニ關スル問題ノ解決ヲスルヤウナコトハ、致シタクナイノデアリマス、若モ諸君ガ不信任案ニ同意セラレマシテ、此案議ヲ速ニ進メラレタナラバ、議會ノ事、政治ノ事ハ、此議場ニ依テ根本的ニ解決セラレマシテ、醜司法權ノ發動ナドヲセズニ、政治的解決ガ一切著キマシテ、政黨ノ信用、議會ノ權威ト云フモノガ國民ニ依テ認めラレルト考ヘルノデアリマス、之ヲ爲サ、ルガ爲ニ、言論自由ノ議會ニ於テ吾々ノ言論ヲ束縛サレタル爲ニ、公憤ノ發スル所、已ムヲ得ズ擇ブベカラザル司法權ノ發動ノ如キ手段ニ、出ツルモノガ出ルト云フコトヲ吾々ハ深く恐レマス（拍手）諸君ハ政黨政治信用維持ノ爲ニ、議會政治權威ノ保全ノ爲ニ、速ニ議長ト共ニ我黨ノ不信任案上程ニ向テ賛成セラレシコトヲ、切ニ希望スル次第デアリマス、（拍手）

○議長（秋田清君） 此場合一言致シマス、只今議事進行ノ發言トシテ、戸田由美君御演說中、議長ニ關スル部分ニ付テ御答ヲ致シタイト思ヒマス、議長ハ總テ日程通り議事ヲ進行致シテ居リマス、議事ノ進行ニ付テハ十分熱意ヲ持テ居ルト云フコトハ、滿場諸君ノ總テガ御認め下サテ居ルコトト信ジテ居リマス（拍手「ノー」）唯戸田君所屬ノ國民同盟ヨリ、御提出ノ決議案ガ、上程審議スルニ至ラザルコトニ付テ、多クノ遺憾ヲ持テ居ラレル結果、只今ノ御發議ガアツタコト、存ズルノデアリマスガ、御承知ノ通り議長ハ、同決議案ヲ日程ニ組込シテ居ルノデアリマス、即チ去ル二十日ニ於テ日程ニ組込シテ居ル、今日モ亦日程ニ組込シテ居ルノデアリマス、二十日ニ是ガ上程審議ニ至ラザリシコトハ、此議場ノ決議ニ基テ當然ノ結果デアアルノデアリマス、議長ニ於テハ是レ以上何トモ計ヒヤウハナイノデアリマス（拍手）

○議長（秋田清君） 只今清瀨君ヨリ議事日程變更ノ動議ガ提出セラレマシタ（反對）ト呼フ者アリ）議事日程變更ニ關スル緊急動議、本日ノ議事日程第三十五、決議案、内閣不信任ノ件ヲ繰上ゲ、日程第一ノ前ニ上程シ、審議ヲ進ムルコトノ緊急動議デアリマス、（反對）ト呼フ者アリ）凡ソ日程變更ノ動議ハ、討論ヲ用ヒズシテ採決スルノ例トナテ居リマス、仍テ此際直チニ此緊急動議ニ付テ採決致シマス、清瀨君ノ提出ニ係ル動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス（賛成者起立）

（反對）賛成ト呼フ者アリ）
○議長（秋田清君） 起立少數（拍手）仍テ清瀨君提出ノ動議ハ否決セラレマシタ（拍手）

只今議事進行ノ發言トシテ、戸田由美君御演說中、議長ニ關スル部分ニ付テ御答ヲ致シタイト思ヒマス、議長ハ總テ日程通り議事ヲ進行致シテ居リマス、議事ノ進行ニ付テハ十分熱意ヲ持テ居ルト云フコトハ、滿場諸君ノ總テガ御認め下サテ居ルコトト信ジテ居リマス（拍手「ノー」）唯戸田君所屬ノ國民同盟ヨリ、御提出ノ決議案ガ、上程審議スルニ至ラザルコトニ付テ、多クノ遺憾ヲ持テ居ラレル結果、只今ノ御發議ガアツタコト、存ズルノデアリマスガ、御承知ノ通り議長ハ、同決議案ヲ日程ニ組込シテ居ルノデアリマス、即チ去ル二十日ニ於テ日程ニ組込シテ居ル、今日モ亦日程ニ組込シテ居ルノデアリマス、二十日ニ是ガ上程審議ニ至ラザリシコトハ、此議場ノ決議ニ基テ當然ノ結果デアアルノデアリマス、議長ニ於テハ是レ以上何トモ計ヒヤウハナイノデアリマス（拍手）

日程第一、輸出組合法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——商工大臣松本丞治君提出）

第一 輸出組合法中改正法律案（政府提出） 第一讀會

輸出組合法中改正法律案

輸出組合法中左ノ通改正ス

第一條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ特別ノ事情アルトキハ取扱商品ヲ異ニスル重要輸出品ノ輸出ヲ業トスル者ヲ以テ之ヲ設立スルコトヲ得

第七條ノ三 輸出組合前條ノ規程ニ基キ組合又ハ組合員ノ輸出數量又ハ輸出價格ニ付制限ヲ定メタルトキハ遲滞ナク主務大臣ニ届出ヅベシ届出デタル事項ヲ變更シタルトキ亦同ジ

主務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ輸出數量又ハ輸出價格ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第九條 營業上ノ弊害ヲ豫防シ又ハ矯正スル爲メ必要ト認ムルトキハ主務大臣ハ輸出組合ノ組合員又ハ其ノ組合ノ組合員ニ非ズシテ其ノ組合ノ地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ其ノ組合ノ定ムル取締又ハ制限ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十二條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第一條第一項但書ノ場合ニ於テハ取扱商品毎ニ各組合員タル資格ヲ有スル者ノ過半数ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第十三條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第一條第一項但書ノ場合ニ於テハ取扱商品毎ニ各設立同意者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第十八條ノ二中「一定ノ金額」ノ下ニ「（保

證金額)ヲ加フ

第二十一條ノ二 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

前項ノ代理人ハ組合員タルコトヲ要ス但シ法人タル組合員ハ其ノ業務ヲ執行スル役員又ハ登記シタル支配人ヲ代理人ト爲スコトヲ得

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スベシ

第二十八條中「又ハ定款ノ變更」ヲ「定款又ハ組合員ノ事業經營ニ對スル制限ニ關スル規程ノ變更」ニ改ム

第三十條第一項中「出資一口ノ金額ノ減少若ハ第十八條ノ二ノ規定ニ依ル組合員ノ責任ノ減少」ヲ「出資一口ノ金額若ハ保證金額ノ減少」ニ、同條第三項中「出資一口ノ金額ノ減少又ハ第十八條ノ二ノ規定ニ依ル組合員ノ責任ノ減少」ヲ「出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少」ニ改ム

第三十三條中「第三十五條乃至第三十七條」ヲ「第三十五條、第三十六條」ニ改ム

第三十五條第十號中「出資一口ノ金額ヲ減少シ、第十八條ノ二ノ規定ニ依ル組合員ノ責任ヲ減少シ、」ヲ「出資一口ノ金額若ハ保證金額ヲ減少シ、」ニ改メ同條第三號ヲ第四號トシ以下順次繰下ゲ同條第二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

三 本法ニ依ル届出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ届出ヲ爲シタルトキ

第三十六條ヲ削リ第三十七條ヲ第三十六條トス

第三十八條中「前三條」ヲ「前二條」ニ改メ同條ヲ第三十七條トス

第三十八條 第九條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

輸出ヲ業トスル者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ營業ニ關シ前項ノ命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルコトヲ得ズ

第三十八條ノ二 前條ノ罰則ハ輸出ヲ業トスル者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第七條ノ二ノ規程ニ基キ定メタル組合又ハ組合員ノ輸出數量又ハ輸出價格ノ制限ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ本法施行後遲滞ナク之ヲ主務大臣ニ届出ツベシ
前項ノ届出ハ之ヲ第七條ノ三第一項ノ届出ト看做ス

本法施行前ニ第九條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反スル行爲アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ仍從前ノ第三十六條及第三十八條ノ規定ヲ適用ス

(國務大臣松本素治君登壇)

○國務大臣(松本素治君) 輸出組合法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ御説明致シマス、我國ノ國民經濟ノ發展ヲ圖ル爲ニハ、輸出貿易ノ健全ナル發展ニ俟ツ所頗ル多イコトハ言フマデモナイ所デアリマス、政府ハ曩ニ大正十四年ニ、輸出組合法ヲ制定實施致シマシテ、爾後其實績ノ見ルベキモノハ少

クナイノデアリマス、併ナガラ爾レテ我國輸出貿易ノ現狀ヲ見マスルニ、輸出業者間ニ統制ヲ缺クコトノ結果ト致シマシテ、海外市場ニ於テ我ガ商品ノ廉賣ガ行ハレマシテ、爲ニ海外輸入商ヲシテ、我國商品ノ取扱ニ關シテ危懼ノ念ヲ懷カシメマシテ、取引上不安ヲ生ズル虞ガアルノデアリマス、加之、動モスレバ關稅引上、輸入制限等ノ口實ヲ與ヘマシテ、延イテ我國輸出貿易ノ發達ヲ阻害スルコトガ、少クナイノデアリマス、之ニ依ッテ見マスルト、輸出貿易ノ統制ヲ圖リマシテ、海外市場ニ於ケル我ガ商品ノ無益ナル競争ト、不必要ナル廉賣トヲ防止スルコトハ、刻下ノ急務ト認ムルノデアリマス、然ルニ現行輸出組合法ニ於キマシテハ、輸出ノ統制ニ關シマスル規定ハ尙ホ十分トハ言ヒ難イモノガアルノデアリマシテ、隨テ其統制ノ確保ヲ期シ難イ憾ミガアルノデアリマス、仍テ此缺點ヲ整備スル必要ガアルノデアリマシテ、茲ニ其規定ヲ改正シマシテ、輸出統制ノ強化ニ資スルト共ニ、之ニ對スル監督ヲ十分ナラシメ、更ニ又輸出組合法ノ運用上必要ト認メラレマスル二三ノ點ニ付キマシテ、改正ヲ加ヘント欲スルモノデアリマス、何卒十分御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレシコトヲ希マス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ニ對スル質疑ヲ許シマス——鷲澤與四二君

(鷲澤與四二君登壇)

○鷲澤與四二君 政府ノ御提案ニナツタ輸出組合法中改正法律案ガ竝ニ上程セラレマシテ、只今商工大臣ノ提案理由ヲ拜聴致シマシタガ、本案ハ私仄聞致ス所ニ依レバ、遠カラズ政府ガ輸出統制法ヲ御提出ニナル、

其前提トシテ現ハレタモノ、ヤウニ私共ハ聞及ンデ居ルノデアリマス、果シテ然ラバ今日ノ世界情勢、殆ド親善外交ハ中止狀態ニ陥ッテ、僅ニ生殘ッテ居ルモノハ經濟外交以外ニナイ今日ニ於テ、此我國ノ輸出統制ニ關スル法案ハ、假令其片鱗タリト雖モ、實ニ我ガ國策外交ノ骨子ヲ成スト云フ點ニ於テ、極メテ重大ナリト思フノデアリマス(拍手)然ルニ——後段ニ於テ詳細ニ御問ヒ申シタイガ、只今商工大臣ノ説明ノ理由ニ、我國ノ商品ガ世界ノ市場ニ於テ廉賣サレテ居ルト云フ、實ニ不謹慎ナル放言ヲナサレタコトニ對シテ、先以テ私ハ質問セザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)「シムラ」會議ニ於テモ、亦現在ノ日英會商ニ於テモ、相手國ノ外交官ガ我ガ外交官ヲ威嚇シタ言葉ハ何デアアルカ、日本ノ輸出ガ斯ノ如ク勇躍致シテ居ル唯一ノ原因ハ、日本ガ「ダンピング」政策ヲ行ツタ、日本ガ廉賣ヲ行ツテ居ルカラ斯様ナコトニナツテ居ルノダト云フコトニ依ッテ、日本外務省ハ萎縮致シタ(拍手)諸君、今日日本ノ農民諸君ハ、三杯ノ飯モ食ヒ兼ねテ居ル、商工業者ハ、利益ノアル商工業ニ從事シテ居ルト云フ人ハ恐ラク天下ニ一人モ無イト思フ(ヒヤ)「拍手」三杯ノ飯ヲ二杯ニ減ラシ、利益ナシト雖モ之ヲ以テ我家ノ業ト爲スト云フ程ニ、國民總動員ヲ致シテ居ル、故ニ其三杯ノ飯ガ二杯ニ減ツタ、其一杯ガ物價安ニ影響シテ居ル、世界ガ舊式資本主義ノ下ニ安逸ヲ貪ツテ、搾取主義ニ醉ウテ居ル際ニ、我國ハ國民全體ガ總動員ヲシテ、生死ヲ賭ケテ、商品ノ海外躍出ニ努メテ居ル時ニ、本案提出ニ當ッテ廉賣ト云フニ至ッテハ、實ニ今日ノ國民生活全體ニ對スル侮辱ナリト思フノデアリマス(拍手)

諸君、今日ノ情勢ヲ私ハ只今ノ商工大臣ノ御言葉ニ關聯シテ、過去一箇年間ニ於ケル外交ノ國際情勢ヲ檢討致シテ見タイト思フノデアリマス(拍手)

諸君、先以テ私ハ外務大臣ニ御伺ヲシテ見タイト思フノハ、果シテ國際聯盟脫退以後ニ於テ現内閣ハ、殊ニ我ガ外務大臣ハ、聯盟脫退前ノ外交ヲ爲スデ居ルノデアリカ、脫退以後ノ新ナナル國策基調ノ上ニ立テ外交ヲ爲シテ居ルノデアリカ、確タル信念ヲ御伺シタイノデアリマス(拍手)當議會開會以來私共ハ、外務大臣ノ外交方針及ビ之ニ對スル質疑應答ヲ神妙ニ承テ居タノデアリマス、外務大臣ハ平和と工作、外交工作ニ依テ、今後ノ外交ヲ處理スルト云フコトヲ、極メテ巧妙ニ御述べニナリ、而シテ此御答辯ニ依テ上下兩院ハ勿論、實ニ和ヤカナル印象ヲ國民ニ與ヘテ、正ニ世ノ中ハ春ノ半バデアルト云フヤウナ感じヲ與ヘタノデアリガ、此應答ハ聯盟脫退ト申ス容易ナラザル所ノ外交ヲ斷行シタ以後ニ於キマシテハ、洵ニ肌膚リノ好イ春風デアリマス、併ナガラ此點ニ於テ私ハ、外務大臣果シテ正確ニ、聯盟脫退ヲ決意致シタル所ノ國民ノ總意ニ副ヒ、之ヲ暢ブル所ノ精神ヨリ發露シタ言葉ナリヤ否ヤヲ疑フノデアリマス(拍手)我ガ外交ハ外務大臣ノ述べラレル所ニ依レバ、殆ド一年前ニ逆戻リヲシタルガ如キ感想ヲ私共ニ與ヘルノデアリマス、威程外交ハ平和と工作デナケレバナラスノデアリマス、併ナガラ我ガ國民國家ガ「團トナ」デ「ゼネヴァ」外交ヲ脫退致シテ、聯盟ヲ脫退致シテ、茲ニ新ナナル國策ヲ樹立致スト云フ決心ニ至テ、而シテ是ガ物ノ美事ニ成功ヲ致シテ、今日ハ我ガ日本ハ、

脫退以後ノ日本デナケレバナラスノデアリマス、脫退前ノ無意味ナル追隨——肌膚リノ好キ平和思想ニ依テ、漫然ト外交ヲ行ハルベキモノデハナイノデアリマス、或ハ「ゼネヴァ」ノ脫退ハ——私ハ今日此席上ニ松岡君ナキコトヲ遺憾トスルノデアリマス、此事情ヲ此議會ニ於テ報告ヲ致シテ、而シテ自分等ガ國民代表トシテ行タル所ヲ茲ニ率直ニ國民ニ懇ヘ、而シテ政府ニ之ヲ注意スルト云フ機會ヲ失タコトヲ、私ハ遺憾ニ存ズルノデアリマス(拍手)國際聯盟脫退ハ、從來ノ如ク外務省事務外交ノ延長ノ上ニ於テ行ハレタ事務デハナイノデアリマス、事務的ニ申スナラバ、實ニ是ハ失敗デアリマス、外交事務——外務省ノ役人ガ、今日マデ三十年間苦シク、役ニモ立タナイ條約ヲ外務省ノ倉庫内ニ貯藏シタ、此過去ノ歴史カラ見ナラバ、世界列國ト一度手ヲ斷テ、我國獨自ノ外交ヲ行ハントスルト云フ點ニ於テハ、實ニ從來ノ外交形式ヲ破タル點ニ於テハ、外務省ヨリノ眼鏡カラ見タナラバ、是ハ實ニ失敗其モノデアリマス、今日外務省ニ瀾漫シテ居ル思想ハ、再ビ之ヲ取還サントシテ居ル、松岡君ハ曰ク、六十年ノ我ガ外交ヲ清算スルト言テ居ル、此大言ガ我ガ外交ヲ取扱フ所ノ職業外交官ノ心底ヲ衝イテ、今日ハ如何ニカシテ其仇討ヲシヨウ、而シテドウカシテ、昔ナガラノ平家ノ公達ガ歌合セラスルヤウナ外交ニ戻サウトスルヤウナ空氣ガアルノデアリマス、松岡君ハ恐ラク今敵討ヲ食テ居ルノデアリ、併ナガラ一タビ吾々ガ國策遂行ノ上カラ之ヲ見ル時、我國ハ今後世界ニ對シテ臨ムベキ國策ヲ遂行スル、外務省ノ事務外交デナクシテ、國策遂行ノ外交

ノ上カラ言フナラバ、國際聯盟脫退ハ實ニ吾々ニ與ヘラレタル躍進ノ唯一ノ機會ナリト私ハ信ズルノデアリマス(拍手)此點ニ於テ内容及ビ事務的缺陷ハ多ナルデアリマセウ、私ラシテ批評セシムルナラバ幾多アルケレドモ、新ナナル此國策樹立ノ上ニ於テ、モウ列國ニ御相談ヲシタクモ宜シイ、東ハ東、西ハ西、我等ハ歐羅巴ノ外交、歐米ノ外交ニ干渉セザルト同時ニ、又東洋ニ關係セザル所ノ諸外國ヲシテ我ニ干渉セシメズ、此本義ヲ確立スル上ニ於テハ、實ニ「ゼネヴァ」外交脫退ハ、新日本國民ノ躍進スベキ所ノ劃時代的事實デアルト吾々ハ認メザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)此際此新事實、善シ惡シハ別デアリマス、善カレ惡シカレ、此臨シタル所ノ基礎ノ上ニ於テ諸般ノ外交案件ヲ策サナケレバナラズ、又茲ニ外交方針ヲ定メナケレバナラスノデアリマス、諸君、今日ハ滿一年ヲ過ギテ居ル、脫退以後滿一年ヲ過ギテ、殆ド昔語リノ如ク、今日ハ歴史ノ如ク響イテ居ルノデアリマスガ、併シ吾々ガ乘テ居ル此舞臺ハ、一年經タウガ、二年經タウガ、脫退以後ノ日本ハ日本獨自ノ、自主ノ外交ヲ世界ニ呼掛ケルト云フ點ニ於テ、少シモ變リハナイノデアリマス(拍手)故ニ脫退以後ニ於テハ、脫退以後ノ新國策ナカレバカラズデアリマス、内田外務大臣ハ、松岡君ニ訓電ヲ發スルノニ、從來ナラバ外務省ノ代表者デアルガ、何ト言フ、貴下ハ國民代表ナルガ故ニト言フ、國民ノ代表ト云フ從來外務省ノ訓令ニハナイ字句ヲ以テ、君ハ國民ノ爲ニ働カナケレバナラス、我ガ滿洲ノ生命線ニ對シテ、徒ニ他人ノ容喙ヲ許ササル點

ニ於テ、國民ノ總意ヲ酌シデ萬丈ノ氣焰ヲ吐カナケレバナラスト云フ訓電ヲ展、寄越シ、其訓電ノ中ニハ、貴下ハ國民代表ナルガ故ニト云フ字句サヘ使テ居ル、併ナガラ此脫退ヲ致シタ當時ニ於テ——今日ハ昔語リデアリマセウガ、私バカリデナク、諸君ニ於テモ御同感デアリマセウ、政府當局者ニ於テハ、更ニ同様デアラウト考ヘルノデアリマスガ、脫退ハ極メテ愉快デアル、我ガ主張ヲ力強ク唱ヘテ、若シ相手ガ之ヲ許サル時ハ、敢然トシテ脫退ヲ致スト云フ、此點ニ於テ何等吾々ノ意氣ニ於テ沮喪ハナイノデアリマスガ、併ナガラ假令國策ノ遂行ト雖モ、脫退直後ニ於テ世界ガ、彼等ガ事前ニ揚言シタルガ如ク、日本ノ經濟征伐ヲ行フ、或ハ合同シテ日本ヲ排撃スルト云フガ如キ事態ガ若シ起タナラバ、如何ニシテ此責任ヲ盡スベキヤノ一點ニ對シテハ、出先ニ居ル者モ、凡ソ之ヲ國內ニ於テ支援サレタル國民諸君ニ於テモ、當路者諸君ニ於テモ、非常ニ迷ハレタコトデアラウ、然ルニ何ゾ知ラン世界ノ情勢ハ變テ居ルノデアリマス、日本ノ力強キ主張ヲ唱ヘタ其歐洲ノ場面ハ、殆ド曩ノ歐米ニ非ズ、歐羅巴ハ半身不隨ノ如ク經濟的活動ヲ失テ居ル、亞米利加ハ金有ルガ故ニ亞米利加ノ威力ヲ失テ、殆ド經濟的崩壊ノ狀態ニ陥テ居ル、故ニ今迄ノ平常ナル事態ニ於テ日本ガ脫退ノ如キ、實ニ破天荒ナル提議ヲ致シタナラバ、率然トシテ天下ノ總攻撃ヲ受ケタニ相違ナイガ、脫退ノ決意通告ヲ致シタ直後ニ起タ世界ノ情勢ハ如何デアリマスガ、即チ日本ガ脫退ヲ通告シテ、脫退直後ニ起ルベキ當然ノ論理的結果ハ、ソレ見ヨ日本ハ侵略主義ヲ翳シテ、滿洲國

ヲ基調ト致シテ、以テ多年ノ野心ヲ遂行スルノデハナイカト云フ如キ結果ガ現ハルベキ筈デアアルノニ反シテ、亞米利加カラ第一ニ參ヲ提言ハ何デアリマス、世界ノ不況ヲ救済致ス爲ニ、日本ヨリ總理大臣級ノ偉イ方ヲ御派遣相願ヒタイ、以テ此世界の不況ヲ救済致シタイト云フ、ツイ亞米利加カラ聽イタコトノナイ齒當リノ宜イコトヲ聽イタノデアリマス、若シ實際ノ情勢カラ言フナラバ、亞米利加ハソレ見ヨ日本ガ聯盟ヲ脱退致シテ、世界平和ノ基調ヲ破テ、サウシテ自己ノ野心ヲ遂行スル前提ナリト云フベキ筈デアアルニ拘ラズ、亞米利加ハ直チニ其態度ヲ變ジテ、日本ニ經濟的救済ヲ求メテ參ヲ、私ハ此點ニ於テ脱退前ノ外交ヲ行テ居ルノカ、脱退後ノ外交ヲ行テ居ルカヲ問ハントスルノデアリマス、之ニ對シテ我が朝野ハ、我が政府ハ、欣然トシテ參加スルト云フコトヲ直チニ決メテ、石井子爵ヲ倫敦會議ニ出席セシメタノデアリマス、本議會開ケテ既ニ其半バヲ過ギテ居ルニ拘ラズ、未ダ會テ倫敦會議ノ原因及ビ結果ニ付テ御報告ナキハ如何デアリマス、全權トハ形容詞デハナイ、全權トハ外ニ對スル總理大臣デアアル、其全權ガ脱退以後ニ於テハ、國內收拾ニ全力ヲ盡サナケレバナラヌ時ニ、何ヲ苦シデカ亞米利加ノ不況、歐羅巴ノ不況ノ救済ニ出動スル必要ガアルノデアリマス、亞米利加ノ提議ニ對シテハ洵ニ御同情ニ堪ヘナイガ、目下國內取込中ニ付キ、出席御斷リ致スト云フ返答コソ、實ニ國際聯盟脫退ニ相應ハシキ對米外交デナクテハナラヌト思フ、其具體案ガ適當ナリヤ否ヤハ別デアリマス、少クトモ左様ナ精神ヲ以テ取扱ニナラズンバ、唯サヘ日本

ハ猜疑ノ中心ニナテ居ル此際、日本ノ將來ノ外交ヲ遂行致スコトハ出來ヌノデアリマス、然ルニ拘ラズ欣然トシテ參加スル、欣然トハ欣ビ勇ムト云フ言葉デアアル、而シテ亞米利加ニ行テ直チニ日米親善ヲ唱ヘ、歸リニハ大統領トオ茶ヲ飲ンデ日米仲裁條約ヲヤテ、倫敦ニ渡テ最惠國條款ヲ、蚊ノ鳴クヤウナ聲デ訴ヘタ、最惠國條款ハ、如何ナル通商條約ノ末節ニモ附加ヘラレテ居ルオ座ナリノ條件デアアル、最惠國條款ドコロデハナイ、條約本體、日印互惠條約其モノサヘ無通告ニ依テ破壞サレルト云フ時ニ、倫敦ノ會議ニ於テ最惠國條款ヲ唱ヘルナント云フコトハ——ソレモ宜シイ、然ラバ其結果如何、倫敦會議ガ亞米利加ノ提議ニ依テ、成立致シ、亞米利加ノ橫車ニ依テ煙ノ如ク消エテ、我が全權ハ何處ヲドウ廻テ歸ラカ、出ル時ハ全權、世界ノ不況ヲ救済スルガ如キ使命ヲ帶ビテ出デナガラ、歸ル時ハ煙ノ消エタ如ク、何レニ行、タカ分ラヌコトニナテシマ、タ

諸君、脱退後ニ於ケル外交ハ、斯ノ如キ遊戲外交ヲ致シテ相濟ムベキモノナリヤ否ヤ、當時私ハ「ゼネヴァ」カラ歸テ參テ、大藏省ヘ行テ其事ヲ問ヒ質シ、何カ我が經濟政策ニ關聯シタル國家ノ使命ヲ御持チニナ、タカ、左様ナ使命ナンカア、行テタノデハナイ、翌日ノ高橋大藏大臣ノ車中談ニ曰ク、倫敦會議ナント云フモノハ、何モ使命ヲ持テ行、タノデハナイ、日本ハ世界ノ不況ナンカ救フ餘地ハ一ツモナイノダ、ソレハ唯行、タノダ、況ヤ最惠國條款ナンゾ今頃言、テ何ニナルカト云フ車中談ガ出テ居ル、此様ニ國家ノ全權ガ倫敦ニ於テ世界ノ救済ヲ叫ンデ居ル時ニ、國內ニ於テハ何等ノ使命ナシト言、テ居ル、「ゼネヴァ」會議開催ノ最中ニ於テ、我が提言ガ極メテ強硬デアリ、日本ノ意思ガ牢固トシテ拔クベカラザルコトヲ察シタ時ニ、直チニ訓電ガ飛ンデ來タ、餘リニ列國ノ感情ヲ害シテハ相成ラヌカラ、此際石井子爵ヲ歐羅巴ニ廻シテ、列國ノ御機嫌ヲ伺フガドウダト云フ間合セ電報ガ參タ、是ハ「ゼネヴァ」全權團カラコビドク彈カレタ、今將ニ喧嘩ニナルカ和陸ヲスルカ、振上ゲタ拳固ガ未ダ其至ル所ヲ決シナイ間際ニ於テ、仲裁的妥協ヲ申込ムガ如キハ、國家外交ノ上ニ於テ爲スベカラザルコトデアアル、若シ左様ナコトガ行ハレルナラバ、全權團ハ直チニ日本ニ旗ヲ卷イテ歸ルト云フ、之ニ依テ煙ノ如ク間カラ間ニ葬ラレタ、而シテ「ゼネヴァ」代表ガ日本ニ歸リ——未ダ代表ガ日本ニ歸ラザルニ先テ、石井全權ハ欣然トシテ歐羅巴ニ參タノデアアル、此點ニ關シテ詳細ナル御報告ハ「ゼネヴァ」外交、脱退外交以後ニ於ケル我が國際外交ノ最終ノ現ハレデアルカラ、私ハ詳細ニ承テ參考ニ供シタイト思フ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ
○覽譯與四二君(續) 此法案ハ即チ我が統制經濟ノ先驅ヲ爲スモノデアアル、而シテ是ハ輸出業ニ關スルコトデアアル、此法案ハ過去大正十四年ニ出來タモノデアリマセウガ、恐ラク輸出業者ヲ泣カセタ法案ダト私ハ思フ、此法案ガ更ニ改正サレテ出ル時ハ、大正十四年ノ時代トハ違フ、今日ハ先程モ申ス如ク、經濟外交ヲ根柢カラ建直スニ非ズンバ、明日ノ日本ハ何處ヘ行クカ分ラスト云フ時デアアル、果シテ然ラバ此法案ヲ運用スル所ニ重大ナ意義ガアル、法案其モノハ小問題デアラウガ、此運用ニ依テ日本ノ經濟外交ヲ支配スル上ニ於テ重大ナル影響ガアル、故ニ其根柢ニ横ハル所ノ外交觀念ニ對シテ、果シテ信念アリヤ如何ヲ承ハルコトヲ、實ニ今日ニ於テ最モ貴重ナルコト、考ヘル、然ルニ外務大臣ノ御言葉ニ依レバ、實ニ春風ガ世界ヲ吹渡ルガ如ク、而シテソレハ日本ガ平和外交工作ニ依テ、其春風ノ源ヲ爲スガ如キ、洵ニ愉快ナル話ガアル、世間ハ之ヲヤンヤト褒メテ居ル、人ノ褒メテ居ル時ニ之ヲ批評スルコトハ、甚ダ宜シカラザルコトノヤウニモ考ヘルノデアリマス、併ナガラ此儘地テ置イテハイカヌ、彼ノ「シムラ」外交ハ如何デアリマシタカ「シムラ」外交ノ内容ニ對シテハ、既ニ豫算總會及ビ本會議ニ於テ、詳細議員トノ間ニ質疑應答ガアタ、實ニ失敗其モノデアルト云フコトハ、儼然トシテ外務大臣ノ自白ニ依テ明デアアル、併ナガラ「シムラ」會議ハマダシマッテハ居ナイ、「シムラ」會議ハ是カラ始マルノデアアル、結末ハ是カラ始マルノデアアル、重大性ハ今日以後ニアルノデアアル、此「シムラ」會議ハ御承知ノ如ク明治三十七年日露戰爭直後ニ於テ、印度ヨリ我國ニ輸入シテ居ル輸入額ガ九千五百万圓、我國ヨリ印度ニ輸出シテ居ルノガタ、六百万圓カ七百萬圓ニ足ラヌ位デアアル、當時ノ日英國交ニ鑑ミテ、ドウカ印度輸入品ニ對シテハ無稅乃至低關稅ヲ以テ我が印度輸出品ヲ優遇サレタイト云フ懇望ニ依、タノデアアル、當時ノ我が日本ノ豫算カラ見ルナラバ、九千万圓ニ上ル所ノ印度輸入品ニ

對シテ、低關稅乃至無稅ノ恩惠ヲ垂レルト云フコトハ、我が財政上ニ於テ容易ナラザル問題デアリニ拘ラズ、日英國交ニ鑑ミテ之ヲ許シタ、爾來此日印互惠條約ハ、二十七年ノ間ニ於テ其結果スル所、印度ガ日本ニ賣越シタル額ハ三十三億四千萬圓ノ多額ニ上リテ居ル、此三十三億四千萬圓ノ日本ノ現金、此現金ハ爾來二十七年間印度三億ノ民衆ヲ養ヒテ居、然ルニ拘ラズ七年度ニ至テ、偶、日本商工民諸君及ビ農民ノ奮起ニ依リテ、我國ノ印度輸出額ガ僅ニ七千萬圓ノ増額ヲシタ、受取勘定ニナル、綿絲布ノ如キハ僅ニ三百二十萬圓ノ賣越ニナリタダケデアアル、此時ニ於テ七重ノ膝ヲ八重ニ折ルガ如クシテ、二十七年間ニ日本ニ哀願ヲシテ、サウシテ締結致シタル互惠條約、日本ニ依リテ享ケタル利益ハ現實ニ三十三億四千萬圓デアリタ、然ルニモ拘ラズ、此賣越勘定ヲ見ルヤ否ヤ、四月ニ至テ五割ノ税金ヲ課シ、而シテ條約ノ期限ニ達スルヤ、四月十日ニ於テ直チニ此破壞ヲ行ヒ、而シテ六月ニ至テハ突如トシテ七割五分ノ關稅ヲ以テ日本品ノ阻止ヲ企テタ、此點ニ對シテ外務大臣ノ御答ハ、内容ニ付テハ洵ニ不本意デアアル、併ナガラ日英國交ニ鑑ミテ此日印ノ會商ヲ結ンダノダト御答ニナリテ居ルノデアリマス

諸君、脫退前ナラ卒ザ知ラズ、脫退以後ニ於テハ、意ニ滿タザルト云フコトハ、外務大臣一個ノ意デハナイ、意ニ滿タザルト云フコトハ國民全體ノ利益ニ關スルコトデアアルノデアリマス(拍手)故ニ外務大臣ガ認メテ以テ意ニ滿タザルト云フ時ニ、之ヲ締結致ス必要ハ何處ニアリヤ、國民國家ノ利益ニ關スルガ故ニ、進ンデ國權ヲ象徵シ、

國利ヲ象徵スル處ニ、國際間ノ條約ノ存立ノ意義ガアルト私ハ考ヘル(拍手)然ルニ拘ラズ不本意デアリタガト言フ、全然國民ノ利益ヲ認メザルコトヲ自白シテ置キナガラ、之ヲ締結スルトハ何事デアリマス、日英國交ニ鑑ミテト言フガ、日英ノ國交ヲ鑑ミルナラバ、日露戰爭マデハ同盟國デアリ英國ガ、微々タル日本ニ遙ニ手ヲ差伸ベテ、自己ノ傳統ヲ破テ、サウシテ日英同盟ヲ對等ノ資格ニ於テ締結致シタト云フ點ニ於テハ、私ハ英國政治家ノ賢明ナルヲ想ヒ、當時ノ我が日本外交政治家ノ賢明ナルヲ思フノデアリマス、併ナガラ一度其任務ヲ終ルヤ、過去十年間ノ英國ノ態度ハドウデアリマスカ、直チニ新嘉坡ニ砲臺ヲ築イテ、サウシテ日本ニ對スル警戒網ヲ張リタノデアリマス、當時ノ外務大臣「マクドナルド」ハ、若シ自分ガ天下ヲ取ルナラバ、此友邦ニ對スル感情ヲ刺戟スルヤウナ、國交上容易ナラザル害ヲ爲ス此砲臺ヲ、禁止シテ見セルト言、テ居、然ルニモ拘ラズ、今日マデニ至ル英國ガ、我が日本ニ對スル態度ハ如何デアリマスカ、我國ハ宜シク平和外交策ナルベシ、併ナガラ最近ニ於ケル英帝國ガ日本ニ對スル所ノ態度ハ、悉ク鬭爭外交デアリマス、然ラザレバ壓迫外交デアリマス、而モ尙ホ外務大臣ガ平和工作ヲ説カレタ其當時ハ、ドウデアリタカト云ヘバ、即チ「シムラ」外交ヲ讓リタ時デアアル、其讓リタト云フノハ、國民ノ總意ヲ減シテ讓リテ居ルノデアリマセヌカ、綿絲業者ガ印綿不買同盟ヲシ、洵ニ商賣人ガ國策ニ關聯ヲ致シ、同盟ヲ致シテ買ハナイト云フガ如キハ、過去ニ於テハナイコトデアリマス、ナイコトデアアルニモ拘ラズ、已ムニ已マレズ、我が綿絲業者ハ印

綿不買同盟ヲ決意致シタ、聯盟脫退以後ニ於テ國民外交トシテ脫退ニ相應シイ外交ハ、甚ダ遺憾ナガラ政府當局者ノ間ニ起ラズシテ、綿絲業者ノ算盤玉ノ間カラ起リタト云フコトハ、一面ニ於テ洵ニ痛快デアリ、一面ニ於テ私ハ甚ダ慨嘆ニ堪ヘナイノデアリマス(拍手)然ルニモ拘ラズ、此綿絲業者ニ對シテハ、雜貨ノ上ニ於テ何カノ裕リヲ取ルカラ、印綿不買同盟ヲ廢メロト言、テ居ル、諸君、世界ニ斯様ナ外交ガアルデアリマセウカ、其初頭ニ於テ國民ノ意思ハ斯ノ如ク強硬デアルカラ、政府ハ洵ニ圓滿ナル解決ヲシタイト思フガ、國民ノ利益、意思ガ許サヌト云フコトガ、世界外交上ノ會話ノ上ノ常套語デアリマス、然ルニ拘ラズ印綿不買同盟ハイケナイカラ止セ、其代リ雜貨ニ於テ埋合セヲシテヤルト言ヒ、其舌ノ根ノ未ダ乾カザルニ當リテ、一度印綿不買同盟與シ易シト見タ瞬間ニ於テ、印度ハ直チニ雜貨ニ對シテ殆ド輸入禁止ノ如キ課稅ヲシテ居ルデアリマセヌカ、而モ日英國交ニ鑑ミ、又事情已ムヲ得ナイ、不満足ナガラト言、之ヲ糊塗スルト云フコトハ、平和工作ノ表看板ハ洵ニ立派デアアルガ、斯様ナ政策ヲ今後ニ於テ行ツタナラバ、如何ニ我國ノ經濟統制ヲ圖リ、而シテ貿易ノ躍進ヲ圖ルト云フコトニ熱心デアラウトモ、其結果ヲ求ムルコトハ絕對ニ不可能ナリト、私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)而モ今日ノ外務省ノ聲明ハ如何デアリマスカ、日露漁業問題ハドウデアリマスカ、今日ノ漁區ヲ規定致シテ居ル條約、即チ幣原外相時代ニ於テ「トロヤノフスキ」トノ間ニ行ハレタ協約ハ、聲明書ガ言、テ居ル如ク、暫定的デア、而シテ其換算率ハ將來ニ於テ變更スル

ト云フコトヲ、チャント其條約締結ノ當初ニ於テ規定シ、讓リテ居ル、然ラバ其締結以後ニ於テ我國ノ執ルベキ行動ハ、如何ニシテ之ヲ永久的ノモノニスルカ、及ビ此換算率ヲ如何ニ定ムベキカト云フコトニ、我が外務當局ハ非常ナ努力ヲ拂ハナケレバナナカッタ、然ルニ拘ラズ、少シモ其平和工作ナルモノハ執ラレズニ、僅ニ先月ノ九日ニ至テ初メテ左様ナ談判ガ、向フカラ申出サレルト云フコトニ依リ開カレルト云フコトハ、何事デアリマスカ、而モ留幣ハ今日ノ聲明書ガ自白シテ居ルガ如ク、十分ノ一ニ下落シテ居ルノデアリマス、若シ三十二錢五厘ヲ訂正致スト云フノデアアルナラバ、是ハ寧ロ二十錢或ハ十五錢ニ低下スベキガ常道デアルト思フノデアリマス、然ルニモ拘ラズ平然トシテ七十五錢ヲ強要サレテ、サウシテ茲ニ今日ノ如キ聲明ヲ發セザルヲ得ズ、平和工作ハ殆ド其效力ヲ失シテ、今後日露ノ間ニ容易ナラザル所ノ國際談判ヲ開カナケレバナラヌト云フニ至リタ、平和工作ノ看板中味ナシト言ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)而モ是ハ先頃我同僚岸君カラ指摘サレタノデアリマスルガ、外交ノ人事ニ付テモ、今日ノ聲明書ハ何ヲ言、テ居リマスカ、何シロ期日ハ二十日デアアルノニ、我國ノ大使デアアル太田大使ガ露都ニ行、テ「リトヴィノフ」外務大臣ニ面會ヲ求メタノガ、十八日及ビ十九日、明日ハ浦鹽ニ於テ入札ガ現實ニ行ハレルト云フ時ニ、十八日、十九日ニ外務大臣ヲ訪問シテ、恐ラク國際條約デアアルカラ、國際當事者ノ話デナケレバイケナイ、出先官憲ノ話ニ於テハ決定致サレナイカラ、是ハ少クトモ昨年十二月二十九日以前ニ於テ、露都ニ於テ兩國ノ折

衝ガ行ハレナケレバナラナカッタ、然ルニモ
拘ラズ、地テ置イテ二十日ニ迫ラタ十八日、
十九日ニ、太田大使ガ「リトヴィノフ」ニ會
見ヲ申込シテ、御目ニ懸ル譯ニ行カナイ
ト彈カレタ、外務省ハ之ニ對シテ形容詞ヲ
付ケテ居ル、「リトヴィノフ」外務大臣ハ言
フ左右ニ託シ……十八日、十九日ノ會見ヲ
望ンデ、二十日ノ日ニハ現實ニモノニナル
ト云フ時ニ際シテ、言フ左右ニ託シタカ託
サスカラ如何ニシテ探索サレタリヤ否ヤ、
左様ナコトハ餘計ナ形容詞デアル、何故事
前ニ於テ之ヲ行ハナカッタカ、少クトモ是ハ
日本ノ外務省——是ハ外務省ヲ今日突如ト
シテ責メルノハ酷デアリマス、況ヤ廣田外
務大臣其者ヲ攻撃スルノハ酷デアル、人ノ
ヤリ放シタ後ニ出テ來テ、而シテ拍手喝采
ノ裡ニ立派ナ看板ヲ掛ケラレタノダカラ、
今後ノ施設ニ徴シナケレバ、今日特ニ之ヲ
批評スルコトハ殘酷デアリマスガ、少クト
モ最初此大任ヲ受ケテ、サウシテ外務省ニ
於テハ大臣ニ廣田アルヲ以テ尊シト云、タヤ
ウナ、此雄才ノ、玄洋社出ノ、東洋的ノ外務大
臣ヲ得タト云フコトハ、私共實ニ愉快ニ感ズ
ル愉快ニ感ズル其人ガ、脱退前ト同ジ看板ヲ
持、テ來テ平和工作ノ看板ヲ掲ゲタ、其後ニ
於テハ「シムラ」會議ハ如何、而シテ現在問
題ニナラテ居ル漁區問題ハ如何、又日英會商
ノ如キハ、雜貨問題ドコロデハナイ、日本
ノ輸出ニ對スル妨害ハ、英國ノ植民地バカ
リデナク、全市場ニ於テ之ヲ協定シヨウト
大風呂敷ヲ擴ゲラレタ、私ハ外務大臣ニ御
同致シタイ、綿絲業者ガ印棉不買同盟ヲ以
テ此目的ヲ達成セントシタ時ニ、暫ク待
テ、關稅問題ニ於テキット裕リヲ取、テ見セ
ルカラ待テト、壓迫シタル事實アリヤ否

ヤ、此點ヲ私ハ外務大臣ニ御伺フ致シタイ
ノデアリマス（拍手）中島商工大臣ハ居ラレ
ヌノデアリマスルカラ、之ニ對スル折衝
ヲ、私ハ内容ニ立入、テ紕明致スコトハ甚
ダ殘酷デアリマスルカラ、此席ニ於テハ止
メル、併ナガラ諸君、統制ト云フヤウナ、
今日以後ニ於ケル日本ノ國際的ニ影響ヲ與
ヘルベキ所ノ法律、其他ノ諸般ノ施設ハ、
如何ニ我ガ世界的、國際的經濟外交ヲ進展
致スカト云フ根本ニ觸レナケレバナラヌノ
デアリマス、徒ニ法律ノ末梢ヲ變ヘテ、サ
ウシテ輸出業者ノ——只今松本商工大臣ノ
言ハル、如ク、廉賣ナルガ故ニナドト云フ
不届至極ノ言葉ヲ前提トシテ、運用致スベ
キモノデハナイノデアアル（拍手）斯ノ如ク觀
來ルナラバ、實ニ今日以後ニ於テノ我ガ日
本ノ統制案ナルモノハ、内ニ於テハ生産ヲ
刺戟シ、而シテ生産ニ携ハル所ノ全國ノ商
工農民諸君ノ經濟的安定ヲ圖ル所ニ根ザ
シ、而シテ其及ブ所ハ、以テ我國ノ海外進
出デナケレバナラヌノデアアル「ゼネヴァ」ヲ
脱退致シ、吾々ハ歸路實ニ如何ナル風雲ガ
捲起ルカト心配シテ歸、テ來タガ、歐米ノ津
々浦々ニ於テ、實ニ吾々ハ快哉ヲ呼バザル
ヲ得ナカッタ、何トナレバ、英吉利ニ於テモ、
佛蘭西ニ於テモ、亞米利加ニ於テモ、如何
ナル場所ニ於テモ、暴威ヲ振、テ居ルモノ
ハ、言ヒ換ヘルナラバ、政治的ニハ日本ヲ
好マザルノ國民カラ、眞ニ愛スル寵兒ノ如
ク取扱ハレテ居、タモノハ、日本ノ商品デア
ル（拍手）本案ノ如キハ制定ノ當初ニ於テハ、
海外輸出貿易品ガ粗製濫造ノ弊、濫賣ノ弊
ガアル故ニ取締ラナケレバナラナカッタ、其
當時ニ於テハ日本商品ハ即チ粗製濫賣ノ一
ツノ好キ模型デアッタ、今日ドウデアリマ

ス、最モ良キ物ニシテ、最モ「ハイカラ」ナ
物、最モ取扱ヒ好キモノハ我ガ日本品デア
ル、故ニ政治的ニハ好マザル日本ノ品物ヲ
輸入シテ、是ガ世界ヲ征服致シテ居ル（拍
手）實ニ此光景ヲ見タ時ニ、世界ガ日本ノ
商品ニ何カノ制裁ヲ加ヘザル限り、自國ノ
經濟存立ガ出來ナイト感ズルコトハ當然デア
アル、實ニ愉快ニ堪ヘナイノデアリマス、
併ナガラ全般カラ見ルナラバドウデアリマ
ス、日本ノ海外貿易ハ躍進セリト雖モ、今
日尙ホ英米ノ足下ニモ及バヌノデアリマ
ス、英米ノ僅ニ二割デアアル、今後ハヨリ以
上ニ發展シナケレバナラヌ、而モ吾々ノ甚
ダ遺憾ニ考ヘルコトハ、此日本商品ガ世界
ヲ征服スルコト云フ狀況ヲマザ（ト見テ、
日本ニ歸、テ來テ、然ラバ日本商品ガスクマ
デニナルニ付テ、津々浦々ニ至ル迄徹底シ
タヤウナ國策ガアッタカドウカ、如何ナル政
策ガアッタガ爲ニ日本ノ商品ハ世界ノ市場ヲ
征服シタカ、翻、テ如何ナル人ガアッタカ
ラ……俺ガ斯ウシタングト云フ政治家ガ一
人モ日本ニ於テナイコトヲ見テ、日本ノ商品
ガ世界ヲ征服シタルハ、實ニ世界ノ七不思議
ノ一ツナリト私共ハ感ジタ（拍手）唯敢テ人
ヲ求ムルナラバ、私ハ高橋サンダケニハ敬意
ヲ表シタイ、十九弗ニ爲替ガ下、テモ、知
タコトデハナイト言、テ知ラヌ顔ヲシタ所
ノ無爲ノ成功、唯爲サルニ依、テノ成功
アリ、高橋サンガ一番偉イ位ニ私共ハ船中
ニ於テ考ヘタ程、我國ニ於テハ日本製品ニ
世界ヲ征服セサル何等ノ功名ニ任ズルダケ
ノ政策モ、其人モナカッタ、然ラバ如何ニシテ
是ガ世界ニ賣擴メラレタカ、諸君、政策ノ御
蔭デハナイ、政府當路者ノ御蔭デナイトスレ
バ、何ニ由、テ是ガ出タノデアアルカ、前段ニ於

テ申シテ居ルガ如ク、現在ノ我ガ日本農民ハ
過去數年間、本當ニ三杯ノ飯ガ食ヒ切レヌ
ノデアアル、商工民ハ商賣ガ算盤ニ合フガ爲
ニ商賣ヲシテ居ルト云フ者ガ無イト云フ狀
態デアアル、最近戰時重工業ノ發達デ、日本
ハ或ハ繁榮シテ居リマセウガ、北日本全體
ニ至、テハ、殆ド食フニ困、テ、生死ノ巷ヲ
彷徨シテ、鐵ヲ持ツ者ハ鐵ヲ抛チテ、ドウ
シタラ宜イカ、米ヲ作レバ米ガ只ノヤウニ
ナル、豚ヲ飼ヘバ宜イト云フノ豚ヲ飼ヘ
バ、豚ガ只ノヤウニナル、取、テ宜イ、カ
取ラヌデ宜イノカ、働イテ宜イノカ働カヌ
ノガ宜イノカ、舉ゲテ日本國民、農民諸君
全體ヲ、殆ド哲學者ノ如ク、思想家ノ如ク、
其岐路ニ迷ハシメテ居ルト云フ狀態デア
ル（拍手）此際ニ於テ私ハ、日本ガ少クトモ國
政ノ根本ニ於テ執ルベキ政治ハ何ナリト云
フナラバ、此數年間食フ物モ食ハズシテ働
イタ農民、利益ヲ一文モ擧ゲズシテ、尙ホ
其業ヲ勵ンダラ農工商民ノ功勞ニ依、テ日
本ノ商品ガ世界ニ出タノデアアルカラ、此功
勞者ニ酬ユルノ國內政治ガ、茲ニ確立シナ
ケレバナラヌノデアアル（拍手）而シテ海外發
展ニ對スル統制法ガアルト云フナラバ、此
統制法ハ此功勞者ニ酬ユル、即チ一言ニシ
テ申シマスルナラバ、國內政治ノ廓清ニ原
因シ、ソレヲ目的視スル所ノ統制案デナケ
レバナラヌノデアリマス（拍手）此點カラ考
ヘテ、私モ商工大臣既ニ廉賣ト仰セラレタ
ノデ、私ハ失望ヲ感ジテ問フ必要ハナイヤ
ウニ感ズルノデアリマスガ、少クトモ中島
商工大臣ノ後釜ニ、直グ個人關係デ出テ來
タノデヤナイ、此難局ヲ救済スベキ抱負經
綸ヲ有、テ出ラレタコトデアアル、而シテ其初
頭ニ於テ、先以テ出サレタルモノハ、一片々

タル法案ノ改正案トハ雖モ、是ハ只今私ガ申述ベタルガ如ク、世界情勢ニ關係ヲ致シ、而シテ我が國內ノ國民生活ノ安定ニ關スル重大ナ案件デアリマスルカラ、此機會ニ於テ私ノ申述ベタル諸點ニ關シテ、明快ナル御答アランコトヲ、私ハ同大臣ニ望ム次第デアリマス（拍手）

〔國務大臣松本素治君登壇〕

○國務大臣（松本素治君） 只今ノ驚澤君ノ御演說ハ、主トシテ外交ニ關スル御話デア、クヤウニ伺ヒマス、此點ニ付キマシテハ、或ハ外交當局カラ御答スルカモ知レスト思ヒマス、私トシテハ只今ノ御發言ニ對シテ、別ニ御答スルベキ點ガナカッタヤウニ考ヘルノデアリマスルガ

〔廉賣トハ何ダ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長（秋田清君） 靜肅ニ

○國務大臣（松本素治君）（續） 今是カラ申シマスカラ能ク御聽キヲ願ヒマス、只今ノ御發言中、私ハ……

〔發言スル者多シ〕

○議長（秋田清君） 靜肅ニ

○國務大臣（松本素治君）（續） 誤解ヲ避ケル爲ニ二點ニ付テ申上ゲナケレバナラスコトガアルノデアリマス、其第一點ハ、斯ウ云フコトデアリマス、只今ノ御發言ニ依ルト、私ハ我國ノ輸出業者ハ何カ不當廉賣デモシタト云フカノ如キコトヲ、申上ゲタヤウナ誤解ガアッタヤウニ見エマス、左様ナコトハ一言モ申シテ居リマセヌカラ、能ク速記録ヲ御覽願ヒタイ、私ノ申シタコトハ斯ウ云フコトデアリマス

〔發言スル者多シ〕

○議長（秋田清君） 靜肅ニ

○國務大臣（松本素治君）（續） 能ク御聽キ下サイ、私ノ申シタコトハ斯ウ云フコトデアリマス、即チ我國ノ輸出業者ハ、動モスレバ無統制ナル競争ヲ致シマシタ結果トシテ、不必要ニ安價ニ輸出シタ、詰リ外國ノ需要狀態カラ見マスレバ、サウ安ク賣ル必要ハナイノダ、然ルニ此無用ナル、無統制ナル競争ヲシタ結果トシテ、實際ニ不必要ニ安ク賣タト申シタノデアリマス、是ハ事實デアリマス、不當廉賣ト云フコトハ勿論御承知デアリマセウ

〔質問ヲ誤解シテルゾ〕「不必要ナル廉賣トハ何ダ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長（秋田清君） 靜肅ニ

○國務大臣（松本素治君）（續） 不當廉賣ト云フコトハ勿論御承知デアリマセウガ、不當廉賣即チ「ダンピング」ト云フコトハ、生産費ヲ割テ廉賣スルコトヲ謂フノデアリマス、其不當廉賣ヲ我國デヤッタト云フコトハ、私ハ毫モ申シテ居リマセヌ、又左様ナ事實ガアルト信ジテ居リマセヌ、若シ私ガサウ云フコトヲ言フタト云フヤウニ誤解サレルナラバ、其點ハ間違テ居リマスカラ能ク……〔取消セ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ〕取消シマセヌ、私ハ不當廉賣ナド、云フ語ハ一語モ使フテ居リマセヌ

〔不必要ナル廉賣トハ何ダ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長（秋田清君） 靜肅ニ

○國務大臣（松本素治君）（續） 能ク速記録ヲ見テ……

○議長（秋田清君） 國務大臣御發言中デアリマスガ、御注意ヲ申上ゲマス、私語ヲセラレナイヤウニ、議場ニ向テ眞直グニ御

答辯ヲ願ヒタイ

○國務大臣（松本素治君）（續） 御注意ヲ承リマシテ私語ハ致シマセヌ、其點ガ一ツデアリマス、モウ一ツ念ノ爲ニ申上ゲテ置キタイコトハ、只今ノ驚澤君ノ御發言中ニ、此輸出組合法ナルモノハ、從來輸出業者ヲ泣カセタ立法デアルト云フ御發言ガアリマシタガ、輸出業者中他人ノ迷惑ハドウデモ宜シイ、自分ダケノ利益ガアレバ宜シイト云フ意味ニ於テ不當ナル、又濫用的ノ行爲ヲシテ居ッタ者ハ、此法律ニ依テ泣イタカモ知レマセヌ

〔發言スル者多シ〕

○議長（秋田清君） 靜肅ニ

○國務大臣（松本素治君）（續） 併ナガラ多數ノ、最モ善良ナル輸出業者ハ、此法律ニ對シテハ隨喜ノ涙ハ流シマシタガ、泣イタコトハアリマセヌ、其事ダケヲ申上ゲテ置キマス（拍手）

○議長（秋田清君） 瀧外務政務次官

〔政府委員瀧正雄君登壇〕

○政府委員（瀧正雄君） 驚澤君ノ御質問ニ御答致シマス、外務當局ガ平和工作ニ偏シマシテ、如何ニモ軟弱外交デアアルカノ如キ御議論ガアリマシタガ、決シテ殊更ニ軟弱デアアル譯デモアリマセヌ、決シテ殊更ニ強硬デアアル譯デモアリマセヌ、正義ヲ踏ンデ動ゼザルノ態度ヲ持シテ居ルコトハ、外務大臣ガ施政方針ノ演說ニ於テ述ベタル所ニ依ッテ明白デアリマス、驚澤君既ニ御信任下サッテ居ルコトデアリマスカラ、是レ以上長ク申シマセヌ、サウシテ本案ニ

〔ソレハ違フゾ〕「清瀨黙レ」其他發言スル者多シ

○議長（秋田清君） 清瀨君、成ベク不規則

ナ御發言ハ御慎ミニナルヤウニ……

○政府委員（瀧正雄君）（續） 本案ニ關係ナイ諸點ニ付キマシテハ、適當ナ機會ニ又御答ヲ致シタイト思ヒマス

〔驚澤與四二君登壇〕

○驚澤與四二君 只今松本商工大臣ノ御答ハ、私ノ質問モ廣汎ニ涉ッテ居ッタカラ、或最近ニ出立テノ松本氏デアリマスカラ、要點ヲ捉ヘ得ナカッタカト思フノデアリマス、唯前提ニ不當廉賣ヲ取締ルト云フ、廉賣ト云フ文句ガアッタ故ニ、其心得ガ惡イノダト云フ點ニ付テ詳細ニ説明致シタノデアリマス、左様ナ事ニ對シテノ答辯ハ要ラス、只今松本大臣ノ申サレタ中ニ、聽棄テナラスコトガアル、廉賣トハ「ダンピング」ダト言ハレルガ、諸君、廉賣ハ「ダンピング」ニアラス「ダンピング」ハ「不當廉賣」ト呼フ者アリ〕「ダンピング」トハ生産費ヲ國內ニ於テ國民ニ課シテ置イテ、市場開拓ノ爲ニ市場攪亂ヲ致スノガ「ダンピング」デアアル、我國ノ商品ハ、世界ガ日本ヲ好マザルニ拘ラス、水ノ流レルガ如ク出テ行ッタ、其廉賣ナルモノハ、値段ノ安クナッタ原因ハ、私

繰リ返シテ二度説明シテ居ルデハナイカ、國民ガ三杯ノ飯ヲ二杯ニ減ラシタ、其一杯ガ商品安ニ影響シタノダ、若シ之ニ依ッテ低下シタ商品安ガ不當廉賣デアレバ、日本國民全體ガ不當國民ト言ハザルヲ得ナイ、斯様ナ舊式經濟觀念ヲ以テ今日ノ日本ノ經濟政策ヲ處理スルガ如キコトハ、到底不可能ナコトダ、私ハ商工大臣ニ望ムラクハ、出タテマ善キ答辯ヲ爲サラウナド、云フ野心ヲサラリト棄テ、今後ニ於テ前大臣ノ罪ヲモ補フノ、實ニ眞實ナル態度ヲ以テ、國家國民ノ忠僕トランコトヲ冀ヒ、私ノ實

問ハ是デ止メタイト思フ

次ニ外務政務次官ノ御答ガアリマシタ、

是ハ大臣ヲラザル政務官ノ御答デハ、嘸御

苦シカラウト思フ、併ナガラ平和外交ノ看

板ヲ掲ゲテ軟弱ノ如キ、驚澤君ノ御推量ガ

アツタト云フヤウナ一言、私ノ推量デハナ

イ「シムラ」會議ガ證明シテ居リ、今日ノ新

聞デハ日露漁業問題ガ證明シテ居ル、必ズ

近キ將來ニ於テ此平和看板ヲ塗潰シテ、サ

ウシテ軟弱外交ノ澎湃タル國民諸君ノ聲

ニ葬ラレルノデヤナイカト云フ點ニ、

吾々ハ大臣ニ同情ヲ表シタイ、故ニ能ク速

記録ヲ御讀ミニナッテ、將來ノ國家外交遂行ノ

上ニ參考ト相成ラバ——私ハ必シモ人身

攻撃ヲヤルノデモナケレバ、或ハ徒ニ軟弱

ノ形容詞ニ依ッテ、外務省ヲ一言ノ下ニ棄テ

タ譯デハナイ、宜シク國家國民ト共ニ此

統制案ヲ出スト同様ノ心持ヲ以テ、サウシ

テ此躍進セル日本ノ貿易ヲ將來ニ於テ發展

致スヤウニ、商工大臣ト云ハズ、外務大臣

ト云ハズ、全閣僚一致シテ、以テ國民ノ此

數年來ノ困苦缺乏ニ堪ヘタル國家の功勞ニ

酬イルノ大決心ヲ持タレントヲ私ハ望ン

デ、質問ヲ終ラントスルノデアリマス（拍

手）

○議長（秋田清君） 本案ノ審査ヲ付託スベ

キ特別委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス——

青木雷三郎君

○青木雷三郎君 本案ハ政府提出、擬議所

特別會計法廢止法律案委員ニ併セ付託セラ

レントコトヲ望ミマス

○議長（秋田清君） 青木君ノ動議ニ御異議

アリマセヌカ

○議長（秋田清君） 御異議ナシト認メマス、
仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第二及
第三ハ、便宜上一括議題ト爲スニ御異議ア
リマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（秋田清君） 御異議ナシト認メマス、
仍テ日程第二、政府提出貴族院送付、非訟

事件手續法中改正法律案、日程第三、政府

提出貴族院送付、裁判所構成法中改正法律

案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス

——司法大臣小山松吉君

第二 非訟事件手續法中改正法律案

（政府提出、貴族院送付） 第一讀會

第三 裁判所構成法中改正法律案（政

府提出、貴族院送付） 第一讀會

非訟事件手續法中改正法律案

非訟事件手續法中左ノ通改正ス

第二百六條中「第五百二十六條」ヲ削リ

「第八十七條」ノ下ニ「及ヒ小切手法第七

十一條」ヲ加フ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

小切手法第六十五條ノ規定ニ依リ商法第

五百三十六條ノ規定ヲ適用スベキ場合ニ

付テハ從前ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス

裁判所構成法中改正法律案

裁判所構成法中左ノ通改正ス

第二十五條ノ二 地方裁判所ノ豫審判事

差支ノ爲或ル事件ヲ取扱フコトヲ得ス

且同裁判所ノ判事其ノ代理ヲ爲シ得

ヘキ者ナキ場合ニ於テ其ノ事件緊急ナ

リト認ムルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ

外控訴院長ニ於テ其ノ管轄區域内ノ他

ノ地方裁判所ノ豫審判事ニ其ノ代理ヲ
命スルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（國務大臣小山松吉君登壇）

○國務大臣（小山松吉君） 只今議題ト相成

リマシタ非訟事件手續法中改正法律案ニ付

テ御說明申上ゲマス、曩ニ第六十四回帝國

議會ノ協贊ヲ經テ公布セラレマシタ小切手

法ガ、本年一月一日ヨリ施行ノ運びト相成

リマシタニ付キマシテ、小切手法第七十一

條ニ規定シテ居リマスル、小切手ノ振出人

ニ對スル科料ノ制裁ニ付キマシテ、其裁判

手續ヲ規定スル必要ガアリマスノデ、茲ニ

本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、詳細ハ

何レ特別委員會ニ於テ御說明申上ゲル機會

ガアルト存ジマス、何卒慎重御審議ノ上、

御協贊アラントヲ希望致シマス

次ニ日程第三デアリマス、只今上程ニ相

成リマシタ裁判所構成法中改正法律案ニ付

キマシテ、提出ノ理由ヲ御說明申上ゲマス、

判事ノ裁判所ニ於ケル事務ノ分配ハ、裁判

所構成法ノ規定ニ依リマシテ、前年度ニ於

テ其裁判所内ニ於ケル判事ノ會議ニ依リ之

ヲ定メマシテ、其司法年度中ハ之ヲ變更セ

ザルヲ原則ト致シテ居リマス、是ハ御承知

ノ通り裁判權ノ獨立ヲ保持スル爲ニ必要ナ

ルコトデアリマス、然ルニ一旦事務ノ分配

ヲ定メマシテモ、判事差支ノ爲メ事件ヲ取扱

フコトガ出來ナイ場合ガ生ジマス、現行ノ

裁判所構成法第二十五條ニハ「地方裁判所

ノ判事差支ノ爲或ル事件ヲ取扱フコトヲ得

ス且同裁判所ノ判事其ノ代理ヲ爲シ得ヘ

認ムルトキハ裁判所長ハ其ノ管轄區
域内ノ區裁判所判事又ハ豫備判事ニ

其ノ代理ヲ命スルコトヲ得」ト云フ旨ノ規

定ガ設ケラレテ居リマス、然ルニ近年豫審

ヲ要スル刑事事件ガ著シク増加致シタルノ

ミナラズ、現行ノ治安維持法違反事件ニ於

テ、近頃檢舉セラレマシテ豫審ニ付シマシ

タモノガ、何レモ緊急ノ取調ヲ要シ且ツ是

ガ審理ニ付キマシテハ、特別ノ知識經驗ヲ

有スル者ヲ以テ之ニ充ツル必要ガアリマス

ルニモ拘ラズ、斯様ナル判事ヲ各裁判所所

ル所ニ配置シテ置キマスコトハ、事實上不

可能デアリマス、而シテ治安維持法違反事

件ノ如キモノハ、現今ニ於キマシテハ各地

ニ悉ク發生致ス狀況デアリマスルカラ、右規

定即チ二十五條ノ規定ノミヲ以テ致シマシ

テハ、現下ノ實際ハ事務ノ處理上差支ヲ生

ズルノデアリマス、仍テ判事ノ代理ニ關ス

ル他ノ規定ヲモ參酌致シマシテ、茲ニ本案

ヲ以テ裁判所構成法中ニ改正ヲ加ヘマシ

テ、地方裁判所ノ豫審判事差支ノ爲メ、或

ル事件ヲ取扱フコトヲ得ズ、且ツ同裁判所

ノ判事中、其代理ヲ爲シ得ベキ者ナキ場合

ニ於キマシテ、其事件緊急ナリト認ムル時

ハ、裁判所長ニ於テ其管轄區域内ノ區裁判所

ノ判事及ビ豫備判事ニ、其代理ヲ命ズルコ

トヲ得ルノ外ニ、更ニ控訴院長ニ於テモ其

管轄區域内ニ限リ、他ノ地方裁判所ノ豫審

判事ニ其代理ヲ命ズルコトヲ得ル旨ノ規定

ヲ設ケマシテ、以テ事務ノ補助ヲ爲サシメ

ンコトヲ期スルノデアリマス

御參考マデニ附加シテ申上ゲテ置キマス

ガ、從來ハ豫審判事ヲシテ他ノ裁判所ノ豫

審事務ヲ補助セシムル必要ノアリマスル時

事ヲ本人ノ承諾ヲ求メマシテ、一時其必要アル裁判所ノ豫審判事ニ轉補セシムル方法ヲ取テ居、タノデアリマス、併シ是ハ容易ニ行ハレ難キ事情ガアルノデアリマス、是ガ本案ノ如キ改正ヲ必要トスル理由デアリマス、詳細ハ特別委員會ニ於テ御説明申上ゲマス、何卒慎重御審議ノ上、御協賛アラソコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 此場合質疑ヲ許シマス——清瀨一郎君

(清瀨一郎君登壇)

○清瀨一郎君 簡單ニ御尋致シマス、司法ノコト、別ケテモ裁判所構成ノコトハ、極メテ重要ナルコトデアリマスルカラ、冷靜ニ、慎重ニ議セナケレバナリマセヌガ、構成法十二條ニハ、御承知ノ通り毎年判事ノ事務分配ヲ定メル、一旦司法年度ノ初メニ定テ事務ガアリマスルト、事件ガ起テカラ濫リニ判事ヲ取更ヘナイ、又代理順序ト云フノガアル、一定ノ代理順序ヲ決メテ置キマスルト、自ラ事件ガソコヘ入ルト云フコトガ、矢張私ハ人權擔保ト斯ウ云フコトニナラウト思フ、事件ガ起テカラ、此事件ハ誰ニ裁判サソウデハ、ソコニ自ラ不公平モ訴ヘラレル餘地ガアリマスルカラ、初メカラ決テ居ル所ノ事務分配ニ自ラ嵌テ來ル、此組織ガ、陪審制度ガ、明治二十三年布カレザル我國ノ裁判ノ構成法トシテハ、大變ナ人權擔保ノ一ツデアッタノデアリマスルガ、本案ノ如クニ事件ガ起テカラ控訴院長ガ勝手ニ豫審判事ヲ持テ行ケルデハ、ソコニ司法部ガ政治的ノ酌量ヲスル餘地ガ入リヤセヌカ、之ヲ私ハ憂ヘルノデアリマス、今マデモ少シク重大ナ事件デアリマスルト云フト、或ハ檢舉ノ打切トカ、

色々ノコトガ噂サレテ居リマスルガ、私共司法部ニ幾ラカ關係シテ居ル者ハ、實ハ信ジナカッタ、偶、過日議員ノ一人ニ對スル調査委員會ニ於テ、當時アノ事件ヲ何故御檢舉ニナラナカッタカト云フコトヲ質問シタルケレドモ、アノ事件ハ——ト云フノハ岡本一巳君ノ身代リトナラウトシタ事件デアリマス、アノ事件ハ今カラ考ヘタラ矢張り檢舉シナカッタ方ガ宜カッタと思フト、アナタハ仰シヤテ居ル、其時ハ、私記錄ヲ拜見致シマセヌカラ、思慮周密ナル小山君ガ總長デアラレタ時代ノコトデアルカラ、定メシ起訴シナカッタ方ガ宜カッタ事件デアラウト思ウテ、私ハ默テ居、タノデス、然ルニ昨日書類ヲ拜見致シマスルト(問題外ダ)「問題外デヤナイ」ト呼ビ其他發言スル者多シ終ヒマデ御聽キ下サイ——拜見シマスルト、問題ノ人ニ與ヘタ五萬圓ノ外ニ、尙ホ二口ノ金錢ノ授受ガアル、之ヲ何故當時横領乃至瀆職ノ起訴ガナカッタカ、書類ヲ一見シテモ實ニ不思議ナノデアリマス、何トモ了解ガ出來ナイ、私ハ簡單デアリマスルカラ、其一節ダケヲ讀ミマスルガ、第七問デス、是ハ藤田好三郎ニ對シ、枇杷田檢事ガ昭和四年十一月七日ニ調べタ一節デアリマス

(議長問題外ダ)ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 清瀨君、御演說中デアリマスルガ、一言御注意ヲ申上ゲマス、只今アナタノ御發言ハ、此裁判所構成法中改正法律案ニ對スル質疑トシテ許可シタノデアリマス、司法事件ニ關スル檢察事務ノ範圍ニ立入ッテ、御質疑ニ相成ルト云フコトハ、ドウモ不當デアルカノヤウニ議長ハ考ヘル

ノデアリマス、ドウカ其點ニ鑑ミラレテ御質疑アラレンコトヲ希望致シマス

○清瀨一郎君(續) 此控訴院長ノ自由ニ豫審判事ヲ任命シ得ルト云フコトハ、事件ノ檢舉ガ政治的酌量ニ依ッテ、左右サレナイカト云フ質問ナノデス

○議長(秋田清君) ソレナラバ宜シイガ、左様ナ意味合ニ議長ハ聽取ルコトガ出來ナイノデス

○清瀨一郎君(續) 議長暫ク御聽キ下サイ、結論ニ行キマス——之ヲ調べテ見マスルト……

○議長(秋田清君) 只今アナタノ御述ベニナッタ御趣旨ト、是カラノ御演說トガ一致シナイ場合ニハ、議長ハ遺憾ナガラ中止ヲ命ジマス、其御積リデ……

○清瀨一郎君(續) 暫ク——ドウモ兎角最近政治ニ關係シテ居ル者ナドガ檢彈サレルト、客觀的冷靜ナル證據ニ據ラズシテ、政略的ニ檢舉打切ガアルト云フ疑ヲ世人ガ持テ居ル

(ソシナコトハナイ)ト呼ビ其他發言スル者アリ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○清瀨一郎君(續) 斯ノ如クニ豫審判事ヲ、事件々々ニ依ッテ取更ヘルト云フコトニナリマスルト、尙ホ其疑ガ濃厚ニナリハセヌカ、平生ノ時デモ餘程考フベキコトデアッテ、裁判所構成法ハ國家ノ重要ナル法律デアルノニ、今日ノ場合殊更ニ豫審判事ヲ、事件ガ起テカラ後ニ勝手ニ更ヘルト云フ——判事ハ其意ニ背イテ轉所モ出來ネバ免官モ出來ナイト云フコトモ、人權ノ擔保ノ一ツデアルノデス、アナタガ計畫サル、ガ如キヤウニ致シマスルト、是ハ政府ノ大

官ニ關係スルカラシテ、此豫審判事然ルベシ、是ハ某政黨ノ幹部ニ關スルコトデアアルカラ、此豫審判事然ルベシト云フコトニ相成リマスルト、我ガ司法ニ對スル威信ヲ失墜シヤセヌカ(拍手)アナタガ過日言ハレタ所ノモノニ付テノ御聲明ヲ願ヒタイガ、私ハ此書類ハ讀ミマセヌ、此書類ガアナタ方ノ氣ニ御障リデアリマセウ、新聞紙ニ載ッテ居リマスカラ、讀ミハ致シマセヌケレドモ、某書記官長ト某農林大臣ハ、當時瀆職ヲシテ居ルコトハ疑ナイ……

○議長(秋田清君) 清瀨君、遺憾ナガラ、アナタノ發言ヲ中止致シマス

(國務大臣小山松吉君登壇)

○國務大臣(小山松吉君) 清瀨君ノ御質疑ニ御答致シマス、裁判所構成法第十二條ガ、人權ノ擔保トナッテ居ルベキモノデアルト云フコトハ、御意見ノ通りデアリマス、併ナガラ代理順序ガ定リマシタ場合ニ於テ、現行法デハ、只今私が指摘致シマシタ構成法ノ第二十五條、ソレカラ區裁判所ノ場合ニ於ケル第十三條ノ二ト云フノハ、同ジヤウナ差支ノ發生シタ場合ニ於ケル應急ノ規定デアリマス、ソレカラ御言葉デハ、豫審判事ヲ動かスノガ人權ノ保障ヲ破ルノデハナイカト云フ趣意ニ承リマシタガ、豫審判事ハ公判判事トハ自ラ性質ノ違、テ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、ソレカラモウ一ツ、此規定ハ、清瀨君ガ御指摘ニナリマシタヤウナ、行政官タル司法大臣ガ指圖ヲスルノデハナイノデアリマス、控訴院長ガ、地方裁判所長ノ具申ニ依リマシテ、適當ナリト認メタル時ニ於テノミ是ハ行ハレマス、ドウゾ御安心ヲ願ヒマス(拍手)

〔清瀬一郎君「議長」ト呼フ〕

○議長(秋田清君) 清瀬君ノ發言ニ對シテ、議長ハ中止ヲ命ジテ居ルノデアリマス、重ネテ清瀬君ヨリ發言御要求デアリマスルガ、議長ハ此場合發言ヲ許サルコトガ、先例上相當ナリト考ヘマス(拍手)故ニ之ヲ許シマセヌ、繼續致シテ居ル所ノ質疑デアリマスカラ、條理ノ上ニ於テモ發言ヲ許サルコトガ、議長ハ相當ナリト考ヘルノデアリマス(清瀬一郎君「ソナ先例ガ何處ニアリマスカ」ト呼フ)此條理ニ基ク先例ハ幾多アリマス、先例彙纂ノ中ニナクテモ、私ガ二十幾年間ノ議員生活ニ於テ、屢、斯様ナ先例ハ之ヲ見タノデアリマス——兩案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 日程第二、第三ノ兩案ヲ一括シテ、議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第四及第五ハ、便宜上一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第四、小林鑄君外二名提出、營業收益稅法中改正法律案、日程第五、小林鑄君外六名提出、司法保護法案、此兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——日程第四、第五提出者小林鑄君

第四 營業收益稅法中改正法律案(小林鑄君外二名提出)

第五 司法保護法案(小林鑄君外六名提出) 第一讀會

營業收益稅法中改正法律案

營業收益稅法中左ノ通改正ス

第七條第六號中「又ハ演劇興業」ヲ削ル

附則

本法ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

司法保護法案

司法保護法

第一條 左ニ掲クル者ニシテ其ノ必要アリト認ムルトキハ本法ニ依リ之ヲ保護ス

一 刑ノ執行ヲ終リ又ハ刑ノ執行ノ免除ヲ得タル者

二 假釋放ヲ許サレタル者

三 刑ノ執行ヲ停止セラレタル者

四 列ノ執行ヲ猶豫セラレタル者

五 起訴猶豫又ハ微罪釋放ノ處分ヲ受ケタル者

六 其ノ他ノ刑事處分ヲ受ケタル者

前項各號ニ該當スル者ノ家族ニシテ保護ノ必要アリト認ムルトキハ本法ヲ準用ス

第二條 他ノ法令ニ依リ保護處分ニ付セラレタル以外ノ者ニ對シテハ其ノ意ニ反シ保護ヲ行ハス

第三條 保護事務ハ司法大臣ノ管理ニ屬ス

第四條 地方裁判所所在地ニ地方保護局ヲ置ク

必要アルトキハ地方保護分局ヲ置クコトヲ得

第五條 地方保護局ノ設置、廢止及管轄ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 地方保護局ニ局長、保護司及書記ヲ置ク

第七條 地方保護局内ニ保護事務ニ關スル諮問機關ヲ置ク

諮問機關ノ組織並職務ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 地方保護局長ハ保護事務ノ援助ヲ爲サシムル爲適當ト認ムル者ニ保護委員ヲ囑託スルコトヲ得

第九條 地方保護局長ハ保護ノ認定ヲ爲スニ當リ保護ヲ受クル者ノ父兄親族其ノ他保護ヲ委託スルニ適當ト認ムル者ニ出頭ヲ求メ保護ヲ勸說シ又ハ保護ニ必要ナル事項ヲ指示スルコトヲ得

第十條 保護司ハ保護ヲ受クル者又ハ保護ヲ受ケムトスル者ニ對シ召喚同行其ノ他保護ニ必要ナル事項ノ遵守ヲ命スルコトヲ得

第十一條 地方保護局長及保護司ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ公務所又ハ公務員ニ對シ必要ナル共助ヲ求ムルコトヲ得

第十二條 保護ノ種類左ノ如シ

一 生業助成

二 融和調停

三 輔導援護

生業助成ハ生業ニ關シ必要ナル助力ヲ爲シ又ハ適當ナル施設ニ依リテ之ヲ行フ

融和調停ハ社會復歸ヲ圓滑ナラシムル爲父兄親族其ノ他緣故者トノ關係ヲ調整スルコトニ依リテ之ヲ行フ

輔導援護ハ身上及行動ニ關スル指導ヲ爲シ其ノ他必要ナル援護ヲ與フルコトニ依リテ之ヲ行フ

第十三條 保護ハ保護ヲ受クル者ノ居宅ニ於テ之ヲ行ヒ保護司ノ觀察ニ付ス

第十四條 地方保護局長居宅保護ヲ爲スコト能ハス又ハ之ヲ適當ナラスト認ムルトキハ保護團體ヲシテ保護ヲ受クル者ヲ收容セシメ又ハ私人ノ家庭若ハ適當ナル施設ニ收容ヲ委託シ之ヲ保護セシム

前項ノ場合ハ保護司ノ觀察ニ付ス

第十五條 保護ノ要否ハ地方保護局長之ヲ決定ス

第十六條 保護期間ハ二箇年以内トス但シ繼續ノ必要アルトキハ之ヲ更新スルコトヲ得

第十七條 保護ノ解除並保護期間ノ更新ハ地方保護局長之ヲ決定ス

第十八條 保護團體ヲ設置セムトスル者ハ地方保護局長ヲ經由シ司法大臣ノ認可ヲ受クルヲ要ス

第十九條 前條ニ依リ認可ヲ受ケタル保護團體ハ正當ノ理由ナクシテ保護ノ委託ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十條 地方保護局ハ收容ヲ委託シタル保護團體又ハ適當ナル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ收容費ヲ補給スルコトヲ得

第二十一條 保護團體ノ用ニ供スル土地建物ノ權利ノ取得又ハ所有權ノ保存ノ爲ノ登記ニ付テハ登録稅ヲ課セス

第二十二條 保護團體ノ用ニ供スル土地建物ニ對シテハ租稅其ノ他ノ公課ヲ課セス但シ有料ニテ之ヲ使用セシメタル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行ノ際現ニ保護事業ヲ經營スル保護團體中司法大臣ノ指定シタルモノハ本法ニ依リ認可セラレタルモノト看做ス
〔小林錦君登壇〕

○小林錦君 只今上程致サレマシタ營業收益稅法中改正法律案、竝ニ司法保護法案ノ兩案ニ付キ、極メテ簡單ニ提出ノ理由ヲ說明致シタイト思ヒマス、先ヅ營業收益稅法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、大正十五年ニ舊營業稅法ガ廢止セラレマシテ、現行ノ營業收益稅法ガ施行セラレ、營業收益稅法ノ適用ト致シマシテハ、總テノ營利法人ニハ、此營業收益稅法ヲ適用スルコトニナリマシタノニ拘リマセズ、漁業ト演劇興業トミハ、此法律ノ適用カラ除外スルコトニナツテ今日ニ至ラタノデアリマス、諸君、元來租稅ト云フモノハ、物的外形標準ニ依ツテ課稅スベキモノデハナク、所得即チ收益ヲ標準トスベキモノデアリマシテ、換言スレバ應能提供、即チ給付能力ニ應ジテ課稅スベキモノナルコトハ、今日何人モ認メル所デアリマス、然ルニ舊營業稅法ハ、物的外形標準ニ依ツテ課稅シマスルガ故ニ、好況時ニ輕ク、不況時ニ當テハ非常ニ酷ナル負擔ヲサレテ居ラタノデアリマス、即チ現行營業收益稅法ガ制定セラレマシタノモ、此根本理由ニ基クノデアリマス、然ルニ演劇興業ガ此適用カラ除外サレテ居リマスルガ爲ニ、今日尙ホ物的外形標準ニ依リマシテ、觀覽席數デアルトカ、或ハ小屋ノ廣サト云フヤウナ形ニノミ因ハレテ、稅金ヲ課セラレテ居ルト云フコトハ、甚ダ不當ト言ハザルヲ得マセス、又現在ノ演劇興業ハ、

明治十一年、即チ五十六年前ノ太政官布告ニ、地方ノ雜稅トシテ、犬や牛等ト同ジ稅金ノ中ニ組入レラレテ居ラタ云フコトガ、今日情勢トナツテ續イテ居リマスガ爲ニ、各地方々々ニ依リ、其課稅ノ狀態ガ區別デアルト云フ不公平ガアルノデアリマス、即チ現在ノ狀態ニ於キマシテハ、一ニハ稅法ノ趣旨ヲ沒却シテ、稅制ノ體系ヲ紊シ、二ニハ演劇興業者ニ對シテ謂レナキ差別待遇ヲ爲シ、延イテハ負擔ノ公平ヲ破壞スルモノト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、原始産業デアアル所ノ漁業ニ於テハ姑ク措クモ、少クトモ演劇興業ヲ業トシテ居ル所ノ法人ニ對シテハ、一般ノ營利法人ト同様ニ、現行營業收益稅法ニ組入レナケレバナラヌト云フコトハ、洵ニ理ノ當然ナルモノト思フノデアリマス

所以デアリマス

次ニ司法保護法案ニ付キマシテ、提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、抑、檢察、裁判、行刑ト云フモノハ、司法ノ三大事務デアリマスガ、刑餘者若クハ起訴猶豫者等ニ對スル所ノ保護制度ト云フモノハ、改善主義、刑罰ノ最後ノ仕上ゲナリト謂ハナケレバナリマセヌ、殊ニ近代ノ刑事處分ニ於ケル新シキ傾向ト致シマシテ、刑ノ執行ヲ猶豫スルトカ、或ハ之ヲ免除シ、或ハ假出獄ノ制ヲ採用シ、更ニ進ンデ起訴猶豫、或ハ微罪不起訴處分ヲ爲ス等、廣汎ナル便宜主義ヲ採ラレテ居ルノデアリマス、惟フニ明治四十一年現行刑法ガ施行セラレマシテカラ、新刑事思潮ノ吸收、便宜主義ノ採用、行刑施設ノ改善、少年法ノ制定、或ハ假釋放ノ規定ノ擴充等、幾多ノ進歩發達ガアリマシタニ拘ラズ、刑政有終ノ美ヲ濟スベキ保護觀察ニ至テハ、唯少年保護法ノ規定ガアルノミデ、僅ニ民間篤志家ノ奉仕事業ニ委ネテ今日ニ至ラタ居ルノデアリマス、是等民間ニ於ケル保護ノ仕事ヲシテ居ラル、人々ハ、政府カラ受ケル僅カノ補助金ニ依リマシテ、洵ニ社會カラ、眼ニ見エナイ所ノ、椽ノ下ノ力持ヲシツ、今日ニ至ラタ居ルノデアリマス、而モ御承知ノ如ク是等保護セラレベキ人々ニハ、時ニハ強制力ヲ用ヒナケレバ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデアリマス、又近ク行ハル、所ノ刑法ノ改正草案ニ於キマシテモ、保護觀察ノ制度ガ置イテアリマス、又只今本院ニ提出サレテ居リマス所ノ治安維持法中改正法律案ノ中ニモ、保護觀察ノ制度ハ立派ニ置カレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ見マシテモ、全

國ニ散在スル所ノ保護ノ事業ヲ中央ノ司法省ニ於テ統轄シ、サウシテ各地方裁判所所在地ニ地方保護局ヲ設ケテ、サウシテ民間ニ在ル保護事業ヲ統制指導シ、時ニ強制力ヲ用ヒテ是等ノ人々ニ對スル所ノ犯罪豫防、再犯防止ヲスルト云フコトニ至リ得ルナラバ、犯罪者ノ數ヲ減ジ、檢察裁判其他ノ費用ヲ省クコトモ出來ルデアラウト云フコトヲ、信ジテ疑ハヌノデアリマス、即チ保護ノ仕事トシマシテハ、生業助成、融和調停、輔導援護ト云フヤウナ仕事ヲ、中央ノ官廳ニ於ケル統一ニ依ツテ萬遍ナク浸潤サセヨウト云フ考デアリマス〔拍手〕

本案ニ付キマシテハ既ニ前議會ニ於テ會期終了ニ近キ三月十六日ヲ以テ提出致シマシタ所、十八日ニハ民政黨ノ方々モ、國民同盟ノ方々モ、悉ク賛成下サイマシテ、本院ハ通過シタノデアリマスルガ、遺憾ナガラ貴族院デ審議未了ニ終ラタノデアリマス、今回モ此提案ニ當リマシテハ、民政黨ノ手代木隆吉君、一松定吉君、本田彌市郎君モ共ニ提案者ノ中ニ加ハツテ下サツタノデアリマス、ドウカ滿場ノ諸君ノ御贊同ヲ得マシテ、一日モ早く此案ノ成立スルコトヲ望ンデ已マスノデアリマス〔拍手〕終リニ臨ンデ此案ニ對スル政府ノ御所見ヲ、岩本司法參與官ガ居ラレマスカラ伺ヒタイト思ヒマス

〔政府委員堀切善兵衛君登壇〕

○政府委員〔堀切善兵衛君〕 只今ノ御質問ニ對シテ政府ノ所見ヲ申上ゲマス、本案ハ一應御尤ノ理由ナキニ非ザル次第デアリマスルガ、法人ノ演劇興行ニ對スル地方ノ演劇興業稅ヲ廢シテ、之ヲ一般營業收益稅中ニ包含セシメマス、地方ノ財政ニ及ボス影響極メテ大ナル次第デアリマス、今

俄ニ政府トシテ同意シ兼ネルノデアリマス、但シ政府ハ國及ビ地方ノ稅制改正ニ關シ、目下稅制改正準備調査委員會ニ於テ、各種ノ方面ヨリ研究調査致シテ居リマスカラ、本案ノ趣旨ニ付キマシテハ、更ニ慎重考慮スル考デアリマス、右御答申上ゲマス

〔政府委員岩本武助君登壇〕

○政府委員(岩本武助君) 小林君ノ御質問ニ御答致シマス、我國ニ司法保護制度確立ノ必要デアリマスルコトハ申上ゲル迄モアリマセヌ、當局ニ於キマシテハ、司法保護制度ノ必要ヲ認メマシテ、目下此法案ニ關シマシテソレノ研究中デアアルノデアリマス、而シテ只今御提出ニ相成リマシタ案ノ内容ヲ拜見致シマスルト、大體結構デアリマス、唯何分豫算ガ件ヒマスルノデ、之ヲ實施致シマスコトニ付キマシテハ直ニ贊否ヲ申上ゲルコトノ出來ナイコトヲ御承知願ヒタイノデアリマス

○議長(秋田清君) 質疑ハ終局致シマシタ

○青木雷三郎君 日程第四ハ松岡俊三君外四十二名提出、地租法中改正法律案外三件委員ニ、日程第五ハ政府提出非訟事件手續法中改正法律案外一件ノ委員ニ、各、併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第六民族優生保護法案ノ第一讀會ヲ開キマス——提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——荒川五郎君

第六 民族優生保護法案(荒川五郎君外一名提出) 第一讀會

民族優生保護法案

民族優生保護法

第一條 本法ハ民族ノ優生ヲ保護助長シ惡種遺傳ヲ防止根絶スルヲ以テ目的トス

第二條 前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ保性斷種法ノ施術ヲ行フヘシ

一 殺人、強盜其ノ他兇暴ナル犯罪者ニシテ其ノ惡質ヲ遺傳スヘシト認メラルル者

二 精神狂症、遺傳的腦脊髓病、早發性痴呆症等ニシテ其ノ症狀ニ依リ是等惡疾ヲ遺傳スヘシト認メラルル者

三 諸種ノ中毒症、「ヒステリー」、遺傳性不具、結核病、癩病等ノ重症者其ノ他優生學上不正常兒ノ外生ム能ハサル者ト認メラルル者

第三條 前條ニ掲クル者ノ惡種ヲ懷妊セタル者ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ法醫審判ヲ經テ墮胎セシム

第四條 第二條ノ規定ニ該當スル者ニシテ本法ニ依リ斷種法ノ施術ヲ受ケサル者又ハ梅毒淋疾ノ帶患者ニシテ完全ニ治癒セサル者ハ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 總テ婚姻ヲ爲サムトスル者ハ法律上ノ條件ヲ具備シタル旨ノ當該官公吏ノ證明書及醫師ノ健康診斷書ヲ提出シテ婚姻許可證ヲ受クヘシ

第六條 醫師、官公吏虚偽ノ診斷書又ハ證明書ヲ作リタルトキハ刑法第六十條及第五百十六條ノ例ニ依ル

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ

處ス

一 本人カ數回シテ婚姻ヲ爲シタルトキ本人又ハ家族カ虚偽ノ申立ヲ爲シタルトキ

二 故ナクシテ本法ノ施術ヲ拒ミタルトキ

三 許可證ナクシテ婚姻ヲ爲シタルトキ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔荒川五郎君登壇〕

○荒川五郎君 民族優生保護法案ノ提案ノ理由ヲ簡單ニ說明致シマス、諸君今ヤ教育ノ施設ハ一般ニ大ニ備ハリ、醫術、衛生ノ事ハ益、發達進步シツ、アリマスノニ拘ラズ、不良兒、惡漢ハ次第ニ殖エ、病疾虛弱ノ者ハ日ニ増加シツ、アリマシテ、此不景氣窮乏ノド底ニアテ、獨リ刑務所ト病院トハ滿員大入ノ繁昌ヲ致シテ

〔議長退席、副議長著席〕

居リマスコトハ國家ノ恥辱デアリ、民族ノ不幸損害ハ尠クナイト存ジマス、是ガ原因タル、教育ノ缺陷、指導階級ノ放縱、社會環境ノ無秩序及ビ風土、氣候、習慣、人種等ヲ無視シタル榮養ヤ、體育法等ノ錯誤、其他幾多ノ原因モアリマセウガ、ソレ以外ニ於テ、尙ホヨリ以上ニ大ナル原因ハ、父祖血統ノ遺傳ニ因ルコトハ今更說明ヲ要シマセヌ

諸君、兇惡ニシテ直スコトノ出來難イ惡性ヲ先天的ニ持ッテ生レ、又其毒惡症體ニシテ療スルコトヲ得ザル惡疾ヲ遺傳サレテ生レタル、所謂精神の異常兒、若クハ身體的異常兒ニ對シテハ、特別ノ施設教導ヲ致サナクテハナリマセヌ、然ルニ從來我國ニ於ケル是等育兒ノ施設ハ、經費ノ關係上唯僅

ニ其一部分ヲ、感化院、少年教護院、矯正院等ニ收容スルニ止マリマシテ、大多數ハ之ヲ普通兒、正常兒ト共ニ一齊劃一的ニ、共同苗代的ニ收容教育シテ居ル現狀デアリマスガ、斯ノ如キハ人ノ密集團ニ惡性ノ「パチルス」ヲ投込ミ、共同苗代ニ害蟲ヲ放ツガ如キモノデアリマシテ、其正常兒童ニ及ボス影響ハ極メテ甚大ナルモノガアリ、又其國家社會ヲ害スルコトハ實ニ測ルベカラザルモノガアルノミナラズ、本人ニ取ッテモ、本人ノ自ラ爲セル原因デナクテ、斯ク社會ノ排斥、國法ノ刑罰ヲ受ケ、此世ノ中ヲ味氣ナク、不愉快ニ、窮屈ニ、不幸ニ終ラナクテハナラナイコトハ、實ニ憫然ニ堪ヘナイ次第デアリマシテ、社會ハ其惡ヲ憎ミ、其病ヲ忌ンデ、之ヲ排斥シマスアレドモ、是ハ寧ロ大ニ同情スベキコトデアリマスマイカ(拍手)

仍テ斯ノ如キ本人モ何等社會ノ幸福ヲ享ケ得ザルノミカ、終生ノ不幸、災厄ニ終リ、社會モ亦爲ニ大ナル損害、迷惑ヲ蒙ルヤウナモノヲ、此明ルク、正シク、愉快ナルベキ世ノ中ニ招致シナイ方法、即チ惡種遺傳ノ防止根絶方法ヲ講ズルコトハ、社會ノ改善向上ノ爲ニ、將タ民族ノ淨化強成ノ爲ニ極メテ大切ノコト、存ジマス(拍手)

諸君、從來我國ニ於ケル是等民族保護ニ關スル法律ハ、僅ニ婚姻ニ際シテ、三等親ヨリ上ノ結婚ヲ禁止シ、又年齡ノ點ニ於テ、男子十七歲、女子十五歲ト云フ制限ヲ設ケテ居ルコト、竝ニ身體上ノ制限ハ、種痘ヤ其他強制注射等、ホソノ一部のノ制度アルニ止ッテ居リマスガ、併シ外國ニ於テハ、夙ニ大ニ此民族保護ノ問題ニ注意ヲ加ヘマシテ、米國ノ如キハ世界ノ自由國ヲ以テ誇ッ

テ居ル國柄ナルニモ拘ラズ、民族血統ノ淨化ニ重キヲ置キマシテ、法律ヲ以テ結婚制限法ヲ設ケ、「オハイオ州ノ如キハ遺傳病患者ノ結婚ヲ禁ジ、微毒患者ノ如キハ醫師ノ診斷ニ依テ完全ニ治愈シタト云フ證明ヲ提出シナケレバ結婚ヲ許ササルコトヲ規定シ、又精神病者ヤ重症ノ結核、重症ノ「ヒステリー」竝ニ發病中ノ患者ハ、結婚ヲ拒絕スルコトヲ規定シテ居ルノデアリマス、又女子ガ過テ是等ノ結婚ヲ拒絕セラレベキ病氣ヲ持ツ男子ノ種ヲ宿シタ時ニハ、相當ノ手續ヲ以テ之ヲ墮胎セシムルコト、致シテ居リ、又殺人、強盜、其他之ニ類スル兇惡ナル犯罪者ハ、皆其遺傳ヲ豫防スル目的ヲ以テ、男女共處刑ノ一條件トシテ、之ニ去勢術ヲ施行スルコトニシテ居リマス(拍手)

其他瑞典、露西亞、波蘭、英國ノ加奈陀其他ニモ、之ニ類スル法律ヲ施行シテ、惡性惡疾ノ遺傳ヲ防止スルニ努メ、又獨逸ハ劣性人絶種法ヲ制定シテ、精神上又ハ身體上甚ダシキ惡症ヲ具有シ、人種劣惡ナル遺傳ヲ子孫ニ與フル虞アル者ニ對シテハ、強制ヲ以テ其生殖力ヲ絶滅スル手術ヲ施スベキ旨ノ法律ヲ制定シ、昨年七月二十五日之ヲ發布シテ、本年一月ヨリ實施ヲ致シタノデアリマス

是等遺傳病者ノ去勢手術ハ、多クハ男子ノ辜丸又ハ女子ノ卵巢ヲ取去テ、彼等天賦ノ性能モ、人生ノ本能愉樂スラモ奪ウテ顧ミナイ強制手段、即チ所謂去勢術デアリマシテ、彼ノ學術文化ノ尙ホ開ケナイ時代ニ、支那其他ニ行ハレタ宦官ノ手術ト殆ト同ジテ、ソレガ文化ノ進ンダ今日ニモ尙ホ行ハレツ、アリ、而モ宦官ハ自由意思デ、

自ラ進ンデ行フノデアリマスノニ、是ハ強制的ニ強行シテ居ルコトハ、一面カラ見レバ隨分野蠻のトモ申ス程ノ壓制ナ國法デアルト申シテモ宜イデアリマセウ

然ルニ今ヤ醫術ノ進歩ト共ニ、之ガ手術法ガ大ニ改善セラレマシテ、去勢術ノヤウナ荒手術ヲ行ハナイデモ、男子ノ精系若クハ女子ノ輸卵管ニ結紮術ヲ行フテ、遺傳ヲ防止シ、又「レントゲン」ノ深部照射醫術ヲ用テ、其目的ヲ達スルコトモ出來ルヤウニナリマシテ、是等ノ醫術ハ之ヲ施シテモ、男女ノ天賦ノ本能ヲ失ハシムルコトナク、依然トシテ本來ノ性慾愉樂ヲ滿タサシムルコトヲ得ルノデアリマスカラ(拍手)隨テ今日ニ於テハ、國家トシテモ、民族全體ノ保護ノ爲ニ、是ガ去勢ヲ爲シ得ベキ理由ガアルノミナラズ、又本人トシテモ、自分ノ本能の一時ノ満足ヲ得ンガ爲ニ、惡性惡病ヲ遺傳スルコトノ甚シキ罪惡無慈悲デアルコトヲ感ズル、良心ノ惱ミヲ安ゼシムルコトモ得ル次第デアリマス(拍手)

諸君、私ハ多年養育奉仕ニ一身ヲ捧ゲマシテ、此國運ノ進歩、民族ノ向上ニ微力ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、是ガ補強工作トシテ榮養問題、取分ケ玄米食ノ普及宣傳、竝ニ學生兒童ノ家庭環境ノ整理改善ノ爲ニ、少年看護法、校外看護法等ニ關シテ奔走盡力シテ居ルノデアリマスガ、更ニ是ガ根本ニ遡リ、民族ノ惡種遺傳ヲ防止シテ、民族血統ノ淨化、國民性格ノ優秀化ヲ圖リ、是ガ健全ナル發達ヲ助長シ、以テ雄偉剛健ナル國民ヲ培養シ確立シタイト多年熱心研究ノ結果、此案ヲ提出シタ次第デアリマス(拍手)中ニハ此案ノ實行ニ關シテ危ブマレル人モアリマスガ、併シ今ヤ各國共

民族的競争ハ最モ烈シク、何レノ國モ銳意自國ノ國民ノ優秀化ニ努力シツ、アル秋デ、一日後レ、バ一日ノ國損ハ少クナイノデアリマス、決シテハ漫然ト等閑ニ看過スベキ問題デハナイト思フノデアリマス(「ヒヤッ」)實ニ一日ヲ緩ウスルヲ許サナイ大問題ナルヲ信ズルノデアリマス

諸君、尙ホ茲ニ民族ノ優生上重大ノ關係ノアル一事ハ、子ヲ孕ム、子ヲ産ムト云フコトデアリマス、是ハ民族ノ優生ノ上ニ最モ重キヲ置カネバナラヌコトデアリマス、然ルニ永年習慣ノ儘、何等研究スル所モナク、漫然ト味ナリシ古ノ慣習ニ囚ハレ來テ居ルガ如キハ驚人ヲ次第デアリマシテ、私ハ昨日ノ産師法、助産師法案ノ委員會デモ疑問ノ一端ヲ述ベテ置キマシタガ、生レテ子ヲ洗フト云フコト、是ハ良イ事デアリマセウカドウカ、母ノ溫イ胎内ニ居テ來タマケデモ、非常ナ大變化、大激動デアリマスカラ、此處ニ最モ注意ヲ加ヘ、此變化ノ境遇ニ順應シテ、之ヲ保護スル方法ヲ執テヤラナケレバナリマセウ、然ルニ其空氣ヨリモ尙ホ硬イ湯ヲ以テ之ヲ洗フ、是ハ實ニ初生兒ヲ虐待スルモ甚シキモノト私ハ思ヒマス、彼ハマダ固ツタ心モナイカラ、自ラ苦痛ヲ慫ヘルコトモ出來ナイノデ、人ハ無頓著ニ其虐待タルコトニ氣付カズニ居ルノデアリマスマイカ、併シ能ク考ヘレバ、慫ヘテ居ラスノデハナイ、自然のニ慫ヘテ居ルノデアリマス、第一ニ母ノ胎内カラ此空氣ノ世ノ中ニ出レバ、先ヅ諸君ノ知テ居ル通りニ「オギア」ト一聲ヲ發スルノデアリマス、是ハ彼ガ境遇ノ大變化ニ驚イタ驚愕ノ叫ビデアリマスマイ

カ(笑聲、拍手)此大切ナル一聲ニ吾々ハ耳ヲ藉シテ、此ヲ解釋スルコトヲシナイデ、更ニ空氣ヨリモ硬イ湯ノ中ニ入レテ、サウシテ其泣聲ヲ聞イテ、ソレハ元氣ノ證據ダ、又支那流ニ呱呱ノ聲ヲ揚ゲタナド、言フテ、平氣ヲ聞流シテ居リマス、是ハ私此位殘酷ナ事ハナイト思ヒマス、成程産聲トカ呱呱ノ聲トカ云ヘバ、聲ニ違ヒアリマセウガ、其聲ハ驚キノ叫聲デアリ、苦痛ヲ慫ヘル泣聲デアリマス、之ヲ如何ニ吾々ハ聞キ解クベキデアルカ、此處ニ大ナル注意ヲ致サンケレバナラヌ所ガアルノデアリマス、尙ホソレヨリモ甚シキハ、從來ハ子ヲ洗フバカリデアハナイ、剃刀ヲ當テ、頭ヲ剃ツテ居タノデアリマス、今ハ頭ヲ剃ルコトハ山間地方ノ外ハ多クハ止ンダヤウデアリマスガ、剃ルコト、硬イ湯ニ入レテ人間ノ荒イ手デ揉ミ廻スト云フコト、ドレダケノ違ヒガアリマセウカ、此世人ノ常ニ經驗シ實際不斷ニアル是等ノ事ニ對シテ、世人モ醫師モ平氣デ打チャツテ、天下誰一人ノ同情ヲ以テ研究スル者ガナイヤウデアリマスケレドモ、私ハ之ニ大ナル疑問ヲ持テ居ルノデアリマス、尙ホ是ヨリモモウ一層注意ヲ加フベキハ、醫師ヤ產婆ガ居ナクテハ多クハ子ヲ産ミ得ナイデ、醫師ヤ產婆ヲ強ク依頼スル、此母ノ心理狀態、是ハ優生學上最モ研究スベキコトデアリマスマイカ、私ハ本案ノ民族保護ニハ是等ハ最モ研究スベキ重大ナ一事ダト思フノデアリマス、昔カラ親ノ心ハ子ニウツルト申シマス、母ノ強イ依頼心、ヒドイ恐怖心、其憂慮ノ念ハドレダケ胎内ノ兒ノ心性ヲ動かカスコトデアリマセウカ、古來胎教ノコトハ考ヘラレテ居ルニモ拘ラズ、此最モ關係影響ノ大

ナル方面ニ考へ及ボサレナイト云フコトハ、寧ろ意外ニ思フノデアリマス、心ヲ安靜ニ保タセルコト、カ、或ハ精神ヲ愉快ニシ、有益ナ書物ヲ讀シテ、見物デモスルト云フヤウナコトハ、胎教トシテ教ヘテ居リマスケレドモ、最モ大切ナ根本ノ心理、心性ノ方面ニ甚ダ無頓著ナヤウニ思ハレマスガ、古來、彼ノ英雄ヤ大人物ノ多クハ皆貧苦ノ子弟カラ生レタ者ノ多イコトハ、確ニ此貧苦ノ母ハ憂慮シ、依頼スル餘餘暇モナク、敢テ意ニセズシテ平然トシテ産ミ出ス、其精神ノウツル明ナ教示デハアリマスマイカ、今日貴族ヤ富豪ノ子弟ナドハ意思ハ弱ク、依頼心ハ強ク、ヤクザナ者バカリデ、富豪ノ子ニハ馬鹿ガ多ク、又長者ハ三代ト謂フデハアリマセヌカ、是等ハ皆胎内カラ、柔弱ニ軟温ニ又依頼心的ニ産付ケラレ、保護的ニセラレタ事ガ大ニ原因スルコト、思フノデアリマス、此法案ノ如キモ、中ニハ政府カラ出サネバドウトカ、政府案ガ出ナクテハト云フ人モアリマスガ、政府ニ依頼シテ居テハ、何時ノ事カ分リマセヌ、斯ル依頼心ハ最モ宜クナイト存ジマス、勿論此法案ハ我國ニハ最初ノ試ミデアリマスカラ、私自ラモ決シテ完璧トハ申シマセヌ、切ニ皆サンノ民族前途ノ爲ニ眞劍ナ御研究ヲ願ヒタイノデアリマス

尙ホ終リニ臨ンデ一言致シタイノハ、民族ノ問題、優生學ノ問題トシテ、人間ノ性質、個性ハ勿論、病氣ノ事デモ、性行ノ事デモ、是等ノ事ハ單ニ病理ヤ心理等、醫學ヤ解剖ダケノ問題デハナイノデアリマス、腦ノ組織カラ生ズル腦ノ動キ、頭腦ノ研究カラ出ナケレバナラス、人ノ心ノ同ジカラザルハ其面ノ如ク、人々悉ク同一ノモノデハ

アリマセヌ、其同一ナラザル人々ノ心ハ皆頭腦ノ形ヤ其顔面ニ現レテ居ルノデアリマスカラ、此頭腦ノ形ヤ顔面ノ狀ヲ熟知スルコトガ第一デアリマスカラ、爰カラ心身相關ノ根本ヲ究メナクテハ此靈妙ナ人間ノ本質ヲ解釋スルコトハ、出來ナイト思ヒマス、私ハ優生學ノ根據モ、其根本ノ目ヲ著クベキ所ハ茲ニ在リト存ズルノデアリマス、隨テ母ノ心理ハ人間社會ノ根柢ヲ成スノデ、今本案ノ根據モ決シテ醫學ヤ精神病學ニノミ依ッテ判斷シ得ラレナイトコトガ多イノデアリマシテ、精神病ハ遺傳セズトカ云フ醫說等モ此邊ニ研究ヲ加ヘナケレバナラヌ次第デアリマシテ、世間ノ狀態、環境ノ如何スラ、人ノ性行ニ大ニ影響スル所ガアルノヲ見マシテモ、親ノ精神性行等ハ、子ニ多大ノ影響アルコトハ明デアリマス、尙ホ是等ニ互ッテ内部的ノ諸問題等ハ何レ委員會デ御研究ヲ願ヒタイト存ジマス、御同様我ガ日本民族ノ優秀化ニ努力スルコトハ、國家ニ忠ナル第一デアリマス、希クハ滿堂忠誠ノ念ニ富マル、諸君ノ一層ノ御配慮ヲ切ニ懇請致ス次第デアリマス御清聴ヲ拜謝シマス(拍手)

○副議長(植原悦二郎君) 本案ニ對シテハ別ニ質疑ノ通告ガアリマセヌ

○青木雷三郎君 本案ハ政府提出健康保險法中改正法律案外一件委員ニ、併セ付託セラレシコトヲ望ミマス

○副議長(植原悦二郎君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(植原悦二郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——此

際廣田外務大臣ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許可致シマス——廣田外務大臣

〔國務大臣廣田弘毅君登壇〕

○國務大臣(廣田弘毅君) 本案議院本會ハ、本日限り暫ク開會セラレナイト云フコトヲ承リマシタノデ、最近ノ對露外交關係ノ經過ニ付キマシテ、少シク御報告ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス(拍手)謹聽ト呼フ者アリ)御承知ノ通り漁業問題ニ付キマシテハ、大體漁區安定協定ガ出來テ居ルノデアリマシテ、日本當業者ノ漁業ノ本體ハ、大體ニ於テ定テ居ル譯デアリマスガ、本年度ノ競賣ニ際シマシテハ、露西亞側デハ、其競賣ノ際ニ、保證金トシテ入レマスル留ノ支拂方法ニ付キマシテ「アコ」債券ヲ七十五錢デナケレバ賣ラナイ、元來先年來幣原男爵ト「トロヤノフスキー」大使トノ間ニ、三十二錢五厘デ「アコ」債券ヲ買取ッテ支拂ヲスルト云フコトニ定テ居タノデアリマス、此數日前競賣ニ際シマシテハ、突然七十五錢デナケレバナラヌト云フ、ソコデ日本ノ當業者モ、ソレハ國家間ノ取極メニ違反シタ要求デアッテ、到底承認スル譯ニハイカス、隨テ從來通り三十二錢五厘ノ割デ保證金ヲ入レルコトヲ主張シテ、競賣ニ臨ンダノデアリマス、所ガ競賣ノ際ニ、向フノ係官ハ、之ヲ不當ノ支拂、不十分ナル約半額ニ充タナイ保證金デアルト云フノデ、日本側ノ競賣ヲ無効ト宣言シタノデアリマス、實ハ此換算率ノ問題ニ付キマシテハ、其以前カラ浦潮ノ總領事ヨリ、或ハ又莫斯科ノ大使館ヨリ、先方ニ其主張ノ不當ナルコトヲ説明シテ、競賣ノ際ニ何等カ面倒ヲ起スコトノナイヤウニト、警告ヲ與ヘテ居タノデアリマス、所ガ莫斯科方面ノ交渉

ノ經過ト、浦潮ノ實際ノ競賣ノ進行トガ、非常ニ御承知ノ通り距離ガアリマスノデ、電報往復等ノ事情ガアリマシタデアラウト思ヒマスガ、遂ニ今日世間ニ知ラレテ居リマスヤウナ、競賣ノ事態ニナッタノデアリマス、ソレデ日本政府ト致シマシテモ、其露西亞側ノ協定違反、更ニ進ンデハ競賣ヲ無効ナラシムルガ如キ漁業條約違反事項ニ付キマシテハ、十分先方ニ警告交涉ヲ致ス考デ居ルノデアリマス、所ガ露西亞ノ方デモ自然自分ノ主張ノ不當デアルト云フコトヲ認メルニ至リマシテ、二十日ノ競賣ノ日ニ、日本ノ主張ノ理由ノアルコトヲ認メマシテ、競賣ノ結果ニ付テハ何レ之ヲ何トカスルト云フコトヲ申シテ居タノデアリマス、又先程露西亞ノ大使ガ私ヲ訪問シテ參リマシテ、日本ノ政府ノ電報ニ依ルト、換算率問題デ斯ウ云フコトニハナッテ居ルガ、競賣其モノハ、日本ノ競賣ヲ無効ニシタ點ハ是正スルト云フコトヲ申シテ參ッタノデアリマス、此問題モ適當ニ解決スルコトデアラウト思フノデアリマス(拍手)

尙ホ序ニ御承知ノ通り東支鐵道、現在滿洲デハ北滿鐵道ト申シテ居ルアノ鐵道ノ賣買交渉ニ付キマシテモ、昨年五月以來色々日本政府ト致シマシテハ、滿洲國及ビ露西亞トノ間ニ仲介ノ勞ヲ執リマシテ、盡力致シテ居タノデアリマスガ、其間ニ色々難多ナ故障ガ起リマシテ、遂ニ今日ニ至ルマデ交渉ガ停頓シテ居ル狀態デアッタノデアリマス、其問題ニ付キマシテモ、實ハ本日本體、滿洲國ト「ソ」聯邦トノ間ノ意思ガ合致スル程度ニナリマシタノデ、遠カラズ現ニ停滯致シテ居リマス此賣買交渉モ、再開ノ運びニナルト思フノデアリマスカラ、此

事モ此際併セテ御通知致シテ置キタイト思フノデアリマス(拍手)

要スルニ露西亞ニ對シマスル私ノ政策ハ、

丁度一箇月前ニ此壇上デ申シマシタヤウニ、色々事情モアリマスガ、出來ルダケ兩國間ニ存在スル懸案ヲ一ツ／＼片付ケテ行クト云フコトガ、一番兩國關係ノ改善ヲ圖ル上ニ適當デアルト思ヒマスノデ(ヒヤ／＼)

拍手) 尙ホ此趣旨ニ依リマシテ、此後モ大ニ努力致シタイト思フノデアリマス(拍手)

○副議長(植原悦二郎君) 廣田外務大臣ノ發言ニ對シテ質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許可致シマス——深澤豐太郎君

○深澤豐太郎君 簡單デアリマスカラ、此席カラ一ツ御伺フシテ、若シ御答辯ヲ得マ

スレバ、其御答辯ニ依テ質疑ヲ致シタイト思ヒマス

○副議長(植原悦二郎君) 許可致シマス

○深澤豐太郎君 只今ノ外務大臣ノ御演說中、入札ニ付テハ之ヲ是認スルト云フ報告

ニ接シタト云フコトデアリマスガ、今回ノ入札ヲ果シテ是認シタモノデアアルカドウカニ付テ、御明答ヲ願ヒタイノデアリマス

(國務大臣廣田弘毅君登壇)

○國務大臣(廣田弘毅君) 只今私が申上ゲマシタ言葉ハ、露西亞ノ方デハ今度ノ競賣ノ結果ヲ是正スルト申シテ居ルノデアリマ

ス

○深澤豐太郎君登壇

○深澤豐太郎君 私共ハ常ニ日露漁業條約ノ紛争ニ付テ、留意ヲ怠ラナイ者デアリマ

ス、即チ若シ日露事ガ有リト致シマスレバ、其事ノ起ル最モ重要ナル原因モ、此日露漁業ノ紛争ニ原因ヲ發スルモノデハナイカト

恐レザルヲ得ナカッタノデアリマス、私ハ今

同ノ紛争ニ對シマシテモ、若シ此争ガ極端ニ至リマスルナラバ、重大ナル結果ヲ惹起スモノデハナイカ、斯ク憂ヘザルヲ得ナカ

タノデアリマス、其重大ナル結果ヲ惹起ス虞アル問題ニ對シテ、外務大臣ガ率先シテ

議場ニ之ヲ報告セラレテ、吾々ニ嚮フ所ヲ知ラシメテ呉レタコトハ、其立憲的態度ニ

對シテ多大ノ敬意ヲ拂フ者デアリマス(拍

手) 勘察加ニ於ケル漁業ハ、常ニ「ボーツ

マス」條約ノ權益デアルト言ハレテ居リマ

スルガ、實ハ「ボーツマス」條約ニ依テ得

タル權益デアルト云フ觀念ヲ以テ、此問題

ニ臨ムコトハ誤リデアラウト思フ、即チ勘

察加、北洋漁業ノ開發ハ我が日本人、吾々

ノ祖先ニ依テ開發セラレタモノデアリマス

(拍手) 御一新以前ヨリ吾々ノ祖先ハ此方面

ニ出漁ラシテ、盛ニ漁場ノ開發ラシタ、其

當時ヨリ露西亞ノ壓迫ヲ受ケテ、徳川幕府

ノ末期ニ於テ、露西亞ノ壓迫ノ爲ニ其出漁

ヲ禁止シタコトモアル、其禁止ニ對シテモ

吾々ノ祖先ハ之ヲ肯ゼズシテ、絶エズ出漁

ニ専念ラシテ漁場ノ開發ニ努力シ、屢、露

西亞トノ衝突ガアツテ、今勘察加ニ參リマ

スレバ、其悲惨ナル遭難者ノ跡ハ至ル所ニ

テ發見スルコトガ出來ルノデアリマス、實

ニ吾々ノ祖先ハ血ト汗トニ依テ、生命ヲ投

出シテ此漁場ノ開發ラシタ、當時露西亞ノ

漁船ノ如キハ、恐ラク一隻モ北洋ニ於テ見

ルコトガ出來ナカッタデアラウト思フ、然ル

ニ露西亞ノ壓迫ニ堪ヘ得ズシテ、段々萎縮

シテ來タ時ニ、偶、「ボーツマス」條約ノ成

立ニ依テ其權益ヲ確保シタ、露西亞ノ權益

ヲ日本ガ得タノデハナイ、吾々ノ先祖ノ開

發シタル吾々ノ權益ヲ「ボーツマス」條約ニ

依テ確保スルコトガ出來タノデアアル、此

點ニ觀念ノ相違ガアツテハナラナイト思フ

ノデアリマス、私ハ此問題ハ洵ニ急ヲ要ス

ルト思ヒマス、三月一日ノ議場デ質問スル

コトスラモ實ハマダ利位ニ思フテ居ラ、

今日報告ヲ得テ洵ニ幸デアリマスガ、露西

亞ノ斯ノ如キ態度ヲ採ルニ至リマシタ最近

ノ情勢ハ、私共簡單ニ之ヲ見逃スコトハ出

來ナイト思フ、一極東ニ於ケル長官ノ錯誤

デアルトカ、或ハ地方ノ官憲ノ手違デア

ト云フヤウナ問題トハ見ルコトガ出來マセ

ス、最近ニ於ケル莫斯科政府ノ要路ノ大官

ノ言動ナルモノハ、我が日本ニ對シテ一種

ノ惡意ヲ以テ臨ンデ居ル態度ガ明ニ見エ

ル(拍手) 吾々ハ虚偽ノ宣傳ヲ爲シ、惡意ノ挑

發的態度ニ出デ、居ルコトニ對シマシテ

ハ、外務當局ノ御活動ヲ願ハナケレバナ

ラスト思フノデアリマスルガ、是等ノ出來事

ト、今回ノ極東長官ノ執ラレタル態度ト、

相關聯シテ居ル所ガアルトスルナラバ、此

問題ノ解決モ亦國家的ノ重大ナル外交案件

トシテ臨マナケレバナラスト思フノデア

リマス、彼等ハ接壤ノ各四隣ノ國々トハ、所

謂不可侵條約ヲ結ンデ、唯獨リ我が日本ニ

臨ンデ居ルノ態度ガアル、四隣トノ不可侵

條約ノ成立ヲ以テ一日本ニ對シテ居ル、而

シテ日本ノ今日ノ外交的立場ニ顧慮シテ、

彼等ハ一種ノ増長慢ニ陥テ居ルノデハナ

イカト思フ、斯ノ如キ侮目的觀念ノ發露シ

タモノデアルトスルナラバ、吾々ハ斷ジテ

許スコトガ出來ナイト思フノデアリマス(拍

手) 此問題ニハ根本的ニ不可解ナル缺陷ガ

アル、能ク今日マデ此缺陷ニ依ル紛争ガ擴

大シナイデ來タモノト思フノデアリマス、

朝鮮銀行ニ、暴力ヲ以テ閉鎖ヲ命ゼラレ

タコトニ發シテ居ルノデアリマス(拍手)

若シ浦潮ニ於ケル朝鮮銀行支店ガアリマシ

タナラバ、留ノ換算率ノ如キハ必要ガナイ、

此露西亞領土内ニ於ケル日本ノ銀行ノ絶

滅ニ依テ金融機關ヲ杜絶セシメテ、此不合

理ナル換算率ヲ露西亞ト相對シナケレバナ

ラナイヤウニ仕向ケラレタ、實ニ遺憾至極

デアリマス、當時哈爾濱ニ於ケル相場ハ八

錢カ、八錢五厘デアッタモノヲ、三十二錢五

厘ト云フ、莫大ナル、法外ナル値段デア

リ取引ラシナケレバナラナイ條約ヲ結ブニ

至ラ、而シテ是スラモ今回ハ三十二錢五厘

ニ満足セズシテ、七十五錢デナケレバ受

レナイト云フ態度ヲ執テ來タ、露西亞ノ今

日國內ニ於ケル留ノ相場ハドウデアリマ

ス、當時八錢五厘ノ時三十二錢五厘デ結

ンダモノガ、今日デハ既ニ其十分ノ一ニ暴落

ラシテ居ルノデアリマス、一面國內ニ於ケ

ル留ノ暴落ハ斯ノ如ク甚シキニ拘ラズ、日

本ニ對シテハ逆ニ倍額ノ七十五錢ヲ要求

スルト云フヤウナコトハ、到底善意ヲ以テ想

像ダモスルコトガ出來ナイ所デアリマス

(拍手) 外務當局ニ於ケレマシテハ、ドウゾ

是等ノ諸點ヲ御考慮ニナツテ、今回ハ毅然

タル態度ヲ以テ臨ンデ貫ヒタイ、敢テ私ハ露

西亞ト漁業條約ノ有無ニ依テ、勘察加ニ於

ケル日本ノ漁業ノ盛衰ヲ顧慮致サナイノデ

アリマス、漁業條約無シト雖モ、御一新ノ

以前ヨリ身命ヲ抛テ開拓シタル勘察加ノ

漁業ハ斷ジテ拋棄スルモノデハアリマセ

ス、露西亞革命以後ニ於ケル日本ノ自由出

漁ノ歴史ハ、明ニ之ヲ物語テ居ル、敢テ條

約ニ依ラズトモ、我等ハ自主的ニ自由出漁

ヲ以テ、今日ノ權益ヲ確保スルコトガ出來

ルノデアリマス、御承知ノ如ク勘察加ハ無人ノ曠野デアリマス、僅ニ夏期ニ至テ、アノ廣漠タル土地ニ人口五万ヲ算スルカ算シナイ所デアアル、此人口五万ノ人々ノ中ノ三萬人ハ、我が日本帝國ノ臣民デアリマス、諸君、勘察加全體五万カ六万カノ人口ノ中、其過半數ハ我が日本臣民ノ手ニ依テ占メラレテ居ルコト云フ一事ハ、勘察加ニ於ケル自由出漁ガ、斷ジテ可能デアルコトヲ證據立テ、居ル、吾々ハ政府ニ堅キ決心サヘアレバ、勘察加ニ自主的ノ自由出漁ヲ斷行シテ差支ナイト思フデアリマス、此點ニ付テハ私ハ毎年々々海軍ニ於ケル北洋警備費ガ減少サレテ、コ、數年來ハ僅ニ二十萬圓ニ過ギナイデアリマス、若シ此自由出漁ノ覺悟ヲ致スナラバ、我が議會モ、我が國民モ、北洋警備費ガ縱シ十萬圓ガ十倍ニ致シテモ、其協贊ニ吝ナル者デハナイト思フノデアリマス、外務大臣ハ此國民ノ意思ヲ酌ンデ、其交渉ニ當テ戴キタイ、同時ニ私ハ二三ノ點ニ付テ外務大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

今回ノ入札ニ對シテ毎年立會フ所ノ農林省ノ役人ガ、此入札ニ立會フベク入國ヲ願出タルノニ對シテ、露西亞政府ハ其入國ニ對シテ査證ヲ拒否シテ、今回ノ入札ニハ農林省ノ役人ガ立會フコトノ出來ナイ有様ニ置カレテ居ル、是ガ果シテ事實デアリヤ否ヤ、又本年入札ノ割合ハドウナテ居ルカ、大體ニ於テ内定致シテ居ルガ、一部ニ於テ斯ノ如キ結果ニ陷ツト報告セラレタガ、其割合ハ如何ナル狀態ニナツテ居リマスカ、此解決ハ急ヲ要サナケレバナリマセヌ、四月五月ノ交ニナレバ完全ニ準備ヲ整ヘテ臨マナケレバナライ、此準備ガ遅レ、出漁期

ガ迫レバ迫ル程、日本ハ如何ナル不利ナ條件ニモ忍ビシテ之ニ應ジナケレバナライ結果ヲ見ルコトハ、今迄ノ屢ノ交渉ニ於テ明カデアリマスカ、此危險ヲ避ケル爲ニ、最モ急速ニ取運バナケレバナライガ、此點ニ付テノ御考ハドウデアルカ、尙ホ換算率ノ如キ、彼ヨリ七十五錢ヲ要求セラレテ來タノヲ、今日ノ露西亞ノ留ノ下落ヲ基準トシテ換算率ヲ合理的ニ改正スルノ準備ト、交渉ヲセントスル意思ガアルカドウカ、場合ニ依テ、トラバ自由出漁モ亦已ムナシト云フ決意ヲ以テ此交渉ニ當ラレカドウカ、是ハ一ツ一般的ニナリマスカ、斯ノ如キ問題ニ遭遇シテモ、日本ノ國民ハ血ヲ沸マシセヌ、諸君、滿洲ニ於ケル權益ノ侵サレタ時、日本國民ハ悉ク立テテ之ヲ憤ルノデアリマス、同ジ日露戰爭ニ依ル權益デアアルニ拘ラズ、勘察加、北洋ニ於ケル漁業權ノ侵犯ニ對シテハ、日本國民ハ血ヲ沸サナイ、何ノ爲デアリマセウ、是ハ一二營利會社ノ自由ニ委セテ居ル點ニ、日本國民ノ血ヲ沸サナイ原因ガアリハセヌカ、日露戰爭ニ依テ得タル權益ダ、吾々ハ此權益ヲ國民ノ手ニ取ラナケレバナライモノダ、今度ノ日魯大合同ノ如キ、之ヲ機會トシテ吾々ハ半官半民ノ滿鐵ノ如キモノニシテ、露西亞トノ交渉ニモ權威アル交渉ヲナシ、入札ニ依ラズシテ條約ニ依テ一定ノ權益ヲ確保スルコトノ出來ルヤウナ、半官半民ノ下ニシナケレバナライナイト考ヘテ居タガ、遂ニ東拓カラ僅カノ融資ヲシテ治マツタ、其融資デサヘモ株ガ云々セラレテ居ルト云フ結果ニ陷ツテシマツタノデアリマス、政府當局ハ國民ガ日露戰爭ニ依ル權益ヲ確保スル上ニ、此冷淡ナル狀態ハ、聽テハ多クノ缺陷ヲ惹

起スノデアアルカラ、斷然國民ノ利益ト關係ノアルヤウニ、國家ノ權益ニ相應ハシキ制度ニ之ヲ改ムルノ意思アリヤ否ヤ、一般の問題デアリマスカ、之ヲ合併セテ何ツテ置キマス、殊ニ外務大臣ハ其人望ニ於テ、人氣ニ於テ、非常ニ宜イ、對印外交ノ如キ、何人ガ見テモ是ハ成功トハ斷ジ得ナイ、其斷ジ得ザル對印外交デサヘモ、攻撃ノ矢ハ外相ヲ外レテ居ルノデアリマス、今度ハサウデハアリマセヌ、印度トノ交渉ハ通商問題、經濟問題デアアル、此交渉ニ一歩ヲ誤レバ國民ノ感情ノ問題ガ多分ニ含マレテ居ルコトヲ知ラナケレバナライ、ドウゾ此國民ノ感情ヲ爆發セシメルコトノナイヤウナ結末ヲ著ケルコトニ、絶大ナル御盡力アラシコトヲ希望シテ演説ヲ終リマス(拍手)

(國務大臣廣田弘毅君登壇)

○國務大臣(廣田弘毅君) 只今ノ御質問第一ニ御答致シマスガ、農林省ノ役人ガ浦鹽ニ出張スルニ付キマシテ、露西亞側査證ヲ拒絕シタコトハ事實デアリマス、露西亞側ノ言分ハ、斯ウ云フ例ヲ開クト毎年來ルコトニナツテ困ルカラト申シテ居ルノデアリマスガ、實ハ私ハ從來農林省ノ役人ガ競實ニ立會ツテ居ツタカドウカト云フ事實ヲ存ジマセヌノデ、其點ハ明確ニ御答スルコトガ出來ナイノデアリマス、第二ノ競賣ノ結果ニ付キマシテハ、實ハ早速浦鹽ノ方ニ問合セマシテ、露西亞側ノ落札致シマシタ部分ハ、ハッキリ分ツテ居リマスルケレドモ、日本側ノ投票ガドウ云フ狀態デアツタコト云フコトハ、發表シテ居ナイノデアリマスカ、目下問合セ中デアルコトニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ニ漁業實行ノ方法ニ付キマシテ、萬已ムヲ得ザル場合ハ自由

出漁デモ斷行シナケレバナラヌ、ソレニ付テハ海軍省ノ十萬圓ノ豫算ハ、或ハ十倍ニシテモヤラナケレバナラヌト云フ御趣旨デアツタト解シマスガ、私ノ氣持ハ十萬圓モ要ラズニ樂々ト漁業ノ出來ルヤウニシタイト云フ理想デアアルノデアリマス、何トカシテ露西亞ヲシテ日本ノ權利ヲ完全ニ了解セシメタイト思フノデアリマス、尙ホ一般的ノ漁業條約ノ改訂ニ付キマシテハ、目下十分ニ關係者トモ打合セ取調ベテ居リマスノデ、時期ガ來マシタナラバ將來ハ是マデノヤウナ禍根ヲ取除ク方法ヲ以テ、完全ナル條約ノ締結ニ當ラナケレバナラヌト云フコトハ、私ノ最モ切望シテ居ル點デアアルノデアリマス、尙ホ將來日本ノ經濟的活動ニ付テ、十分外交方面カラモ注意シナケレバナラヌト云フコトハ、洵ニ御尤ナコトデ、日本ノ今日ノ進歩ト云フモノハ、實ハ非常ニ目覺マシイモノデアリマシテ、是ガ爲ニ思ハザル恐怖ノ念ヲ世界ニ與ヘテ居ルコトモ實際デアアルノデアリマス、ソレヲ如何ニシテ調和ヲ取ツテ、日本ノ貿易進展ノ前途ヲ阻碍シナイヤウニ、十分外國ノ利益トモ調和スルノ方法ヲ發見スルコトガ、私ノ實ハ最モ苦心シテ居ル點ノ一ツデアアルノデアリマス、尙ホ十分ニサウ云フ點モ注意シテ参リタイト思フテ居リマス

○副議長(植原悦二郎君) 日程第七及第八ハ同種議案ナルニ依リ、一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(植原悦二郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第七、農村救濟負擔均衡法案、日程第八、地方財政補整交付金法案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス、順次提出

者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——由谷義治君

第七 農村救濟負擔均衡法案（清瀬一郎君外四名提出） 第一讀會

第八 地方財政補整交付金法案（岡田忠彦君外四十四名提出） 第一讀會

農村救濟負擔均衡法案

農村救濟負擔均衡法案

第一條 農村財政ノ窮乏ヲ救済シ國民負擔ノ均衡ヲ得セシムル爲國庫ハ本法ニ依リ北海道、府縣並市町村ニ對シ毎年度一億五千萬圓ヲ下ラサル金額ヲ交付ス

第二條 本法ニ依ル交付金ハ其ノ三分ノ一ヲ北海道、府縣ニ三分ノ二ヲ市町村ニ交付ス

第三條 前條ニ規定スル交付金ハ各其ノ四分ノ一ハ人口ニ比例シテ北海道、府縣並市町村ニ交付シ各其ノ四分ノ三ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ資力其ノ他ノ事情ニ依リ必要アリト認メタル北海道、府縣並市町村ニ交付ス

前項後段ノ交付金ニ剩餘ヲ生スルトキハ之ヲ前項前段ノ交付金ニ加フルコトヲ得

第四條 內務大臣ハ本法ニ依ル交付金ヲ交付スル場合ニ於テ其ノ使途ニ關シ必要ナル事項ヲ北海道、府縣並市町村ニ命スルコトヲ得

北海道、府縣、市町村前項ニ依リ命セラレタル事項ヲ遵守セサルトキハ內務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ既ニ交付シタル交付金ヲ返還セシメ又ハ交付スヘキ交付金ヲ交付セサルコトヲ得

第五條 本法ノ適用ニ付テハ町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村、町村制ヲ施行セサル地域ニ於ケル町村ニ準スヘキ公共團體ハ之ヲ町村ト看做ス

附則

本法ハ昭和九年度ヨリ昭和十一年度迄之ヲ施行ス

地方財政補整交付金法案

第一條 政府ハ本法ニ依リ北海道、府縣及市町村ニ對シ地方財政補整交付金ヲ交付ス

第二條 前條ノ規定ニ依リ國庫ノ支出スヘキ金額ハ地方稅總額ノ前五箇年平均額ノ十分ノ一ヲ下ラサル額トス

第三條 地方財政補整交付金ハ北海道及府縣並市町村ニ對シ左ノ通配分ス

一 北海道及府縣ニ對シテハ國庫支出額ノ十分ノ四

二 市町村ニ對シテハ國庫支出額ノ十分ノ六

第四條 前條第一號ノ國庫支出金ハ其ノ三分ノ一ハ人口ニ比例シテ之ヲ交付シ、三分ノ二ハ第五條ノ交付金額ヲ除キ其殘額ヲ二分シ勅令ノ定ムル所ニ依リ一ハ資力ヲ標準トシ他ハ課稅力ヲ標準トシテ之ヲ交付ス

第五條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ特ニ必要アリト認ムル北海道及府縣ニ對シ第三條第一號ノ國庫支出金ノ十五分ノ一ヲ超エサル範圍内ニ於テ交付金額ヲ増加スルコトヲ得

第六條 第三條第二號ノ國庫支出金ハ其ノ三分ノ一ハ人口ニ比例シテ之ヲ市町村ニ交付シ、三分ノ二ハ第七條ノ交付金額ヲ除キ其ノ殘額ヲ二分シ勅令ノ定ムル所ニ依リ一ハ市町村ノ資力ヲ標準トシ他ハ市町村ノ課稅力ヲ標準トシテ之ヲ北海道及府縣ニ對當テ北海道及府縣對當額ハ各別ニ二分シ勅令ノ定ムル所ニ依リ一ハ市町村ノ資力ヲ標準トシ他ハ市町村ノ課稅力ヲ標準トシテ之ヲ市町村ニ交付ス

第七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ特ニ必要アリト認ムル市町村ニ對シ第三條第二號ノ國庫支出金ノ十五分ノ一ヲ超エサル範圍内ニ於テ交付金額ヲ増加スルコトヲ得

第八條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ財政困難ナラスト認ムル北海道、府縣及市町村ニ對シテハ本法ニ規定スル標準ニ依ラズ交付金額ヲ減額スルコトヲ得

第九條 政府ハ本法ニ依リ交付金ノ使途ニ關シ必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第十條 本法ノ適用ニ付テハ町村組合及町村制ヲ施行セサル地域ニ於ケル町村ニ準スヘキ公共團體又ハ其ノ組合ハ之ヲ町村ト看做ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（由谷義治君登壇）

○由谷義治君 國民同盟ノ提案ニ係リマス、農村救濟負擔均衡法案ノ趣旨辯明ヲ致シマス

此法案ハ恐ラク今期議會ヲ通ジマシテ、即チ政府案タルト議員案タルトヲ問ハズ、既ニ提案サレタル議案タルト、是カラ提案

サレラデアラウト信ズル議案タルトヲ問ハズ、一切ノ議案ノ中デ最モ重大デアリ、最モ偉大デアリ、其性質ニ於テモ、其内容ニ於テモ、其數字ニ於テモ、劃期的大法案ナルコトヲ吾々ハ確信シテ居リマス（拍手）此法案ハ第一條ノ條文ガハッキリ示シテ居リマスヤウニ、農村ニ對シテ重點ヲ置イタ法案デアリマス、勿論農村問題ノ根本的ノ打開策カラ申シマス、過般同志風見君ガ、豫算總會ナリ、此壇上デ申シマシタヤウニ、明治大正ヲ通ジテ、農民ノ日本ノ國家ニ貢獻シタル、其全體的事實ヲハッキリ認識シテ、ソレカラ出發スベキデアリマスクレドモ、是ハ姑ク別問題ニスル、少クトモ今日喧マシイ所ノ農村ノ負擔ノ過重ノ如キハ、之ヲ國稅ニ見マシテモ、府縣稅ニ見マシテモ、市町村稅ニ見マシテモ、農村負擔ノ過重ノ如キハ、農民ガ如何ニ明治以來日本ノ財政稅制ニ全部的ナ貢獻ヲシタカト云フ證據デアリマシテ、即チ今日ハ此農民ノ過重極マル負擔、特ニ都市ノ商工業者ニ對抗シマシテ、三倍、四倍、五倍ニ當ル所ノ過重ナル負擔ヲ適當ニ是正シナケレバナラス、即チ農村負擔均衡ノ運動ガ、特ニ昨年以來翕然トシテ天下ノ大輿論トナテ參リマシタ證據デアリマス、況ヤ今期議會ニハ、數萬數十萬ノ農民負擔軽減ニ關スル請願ガ集テ居ル、御五ニ眞劍ニ日本ノ政治ヲ考ヘ、農村ノ政治ヲ考フルナラバ、此重大ナル輿論ニ對シテ吾々ハ最モ眞率デアリ、最モ熱誠デナクテハナラヌト信ズルノデアリマス（拍手）此意味カラ申シマス、此現金ノ收入ノ不足シタ農村カラ、恩切タ税金ヲ輕減スルコトハ、即チ農村ニ對スル第一義ノ政策ナリトモ考ヘ得ル、吾々ノ提案シマ

シタ法案方直ニ實現サル、ナラバ、少ク
トモ土木匠救事業ト云、タ風ナ、將來ニ財政
ノ負擔ヲ貽スヤウナ、或ハ其土木事業ノ途
中ニ於テ、色々ナ濟職事件ヲ起スヤウナ危
險ハナイ、況ヤ吾々ノ提案ハ、思切、タ數
字デアリマスカラ、眼前ノ問題デアル所ノ
農村技術員ノ三百萬圓ヤ五萬圓ノ問題ノ
如キモ、直ニ解消スルノデアリマス、斯
ウ云フ見地カラ吾々ハ、農村救済負擔均
法案ヲ提案シタノデアリマスガ、別ノ方面
カラ之ヲ見マスト云フト、現ニ國家ガ今日
ノ府縣ナリ市町村ニ煩雜極マル、而モ多數
極マル委任事項ヲ澤山ニ命ジテ居リマス、
之ヲ府縣ノ豫算カラ引出シテ見マシテモ、
道府縣ガ國家ノ委任事務ノ爲ニ使、テ居ル
豫算ハ、恐ラク一億五千萬圓デアラウト云
ハレテ居ル、更ニ市町村ガ、斯ウ云、タ
意味ニ於テ負擔シテ居ル費用ハ二億圓
デアラウト云ハレテ居ル、合計三億五
千萬圓ハ實ニ國家ノ委任事務ニ對シ
テ、地方ガ強要サレタル費用ナンデアリマ
ス、ガカラ國家ガ之ニ向、テ相當ナ補給ヲ
スル、或ハ相當ノ報償ヲスル、當然ナ結論
デアル、況ヤ今日農村問題ノ時ニ何時デ
モ主張サル、問題ハ、富ノ不均衡ニ關ス
ル、或ハ富ノ分配ノ非常ナ偏重ニ關スル問
題デアリマス、斯ウ云フ見地カラ之ヲ眺メ
テモ、況ヤ農村購買力ト云フ見地カラ眺メ
マシテモ、吾々ハ本法案ニ對スル重大ナル
認識ヲ諸君ニ訴ヘタイノデアリマス(拍手)
本法案ノ骨子ハ、重要ナ點ダケ御紹介致
シマスガ、此法案ニ依、テ吾々ハ毎年一億五
千萬圓ノ國庫カラ支給スルコトヲ要求致シ
マス、此財源ハ、増稅固ヨリ結構、増稅若
シ少々面倒デアラナラバ、公債ニ依ルモ結

構、吾々ハ此財源ニ對シマシテハ、政府ノ
眞劍ナル決意サヘアルナラバ、極メテ簡單
ニ解決スルト信ジテ居リマス(拍手)更ニ配
當ノ方法、所謂內務省案、或ハ次ノ日程デ
アリマスル政友會案ヲ見マシテモ、此配當
ノ方法ニ付テ吾々ハ農村ニ極メテ多分ノ配
當ヲ主張スル方法ヲ採、テ居ルノデアリマ
ス、即チ之ヲ縦ノ問題カラ言フナラバ、道
府縣ト市町村トノ配當ノ三分ノ一對三分ノ
二、而モ之ヲ横ノ問題カラ申シマス、人
口割ヲ一億五千萬圓ノ四分ノ一トシ、資力
其他ノ、所謂貧弱町村ニ對スル配當割ヲ四分
ノ三取、テ見タ、斯ウ云フコトニ依、テ、吾々
ノ考ヘル所ノ農村救済ノ實ガ、確ニ實行
サレルコトヲ信ズルノデアリマス(拍手)更
ニ第三ハ、此一億五千萬圓ノ交付ニ關スル
根本精神デアリマス、之ヲ唯徒ニ出シマシテ
モ、出シタダケデハ徹底シナイ、少クトモ
此金ヲ交付スル限リニ於テハ、此使途ニ關
シテ內務大臣ハ的確ナル方針ヲ指定スル必
要ガアリマス、若シ此法案ガ出來ルナラバ、
今日天下ノ恨ミノ中心トモ云フベキ戶數割
ノ如キハ、直ニ解消致シマス、或ハ家屋
稅ノ如キモ、直ニ解消スル、況ヤ今日ノ府
縣稅、雜種稅ナルモノハ、非常ナ被害ト非
常ナル弊害ヲ殘シテ居ル、吾々ハ昔日本ノ
農民運動ノ最モ凄慘ナル局面ニ於テ、佐倉
宗五郎ノ奮起ヲ見タ、總州堀田侯ガ、枅カ
ラモ、疊カラモ、天秤棒カラモ税金ヲ取、タ
カラ、佐倉縣廳ガ起キタ、上州ノ沼田ノ
何トカ侯ト云フノハ、色々ノ農民ノ税金ヲ
搾取シテ、到頭最後ニハ赤子ノ産毛カラマ
デモ税金ヲ取、タ、農家ノ窓カラスラ税金ヲ
取、タ、ダカラ到頭沼田ノ百姓ハ、窓ノ無イ
家ニ住ンダト云フ、悲惨ナ事實サヘアルノデ

アリマスガ、今日ノ所謂雜種稅ナルモノガ、
此佐倉縣廳以上ニ、沼田ノ殿様以上ニ、モ
ト殘酷ナル各種ノ稅目ニ於テ、殆ド生存稅
其モノ、如キモノヲ取ルカノ如キ事態ニ遭
遇スルナラバ、此一億五千萬圓ノ交付ニ依、
テ、內務大臣ガ其使途ヲ明ニスル、使途ヲ
明ニスルコトニ依、テ、斯ノ如キ最惡ナル雜
種稅ノ整理モ、根本的ニ出來ルト云フコト
ガ、吾々ノ提案ノ重大ナル理由デアリマス
(拍手)同時ニ此交付金ノ使途ニ對シマシテ
ハ、吾々ハ內務大臣ニ依、テ嚴格ナル罰則規
定ヲ附ケタイ、是ハ嚴重ニシロ、是デ戶數
割ヲ整理シロ、是デ雜種稅ヲ輕減シロト申
シマシテモ、若シソレヲ受取、タ市町村ガ、
サウ云フ使途ニ使ハナイデ、ソレヲ其儘何
デモナイ、或ハ詰ラヌ費用ニ使フ時ニ於テ
ハ、內務大臣ハ直チニ既ニ交付シタ此交付
金ヲ沒收スル、或ハ交付スベキ約束ノ交付
金ヲヤラナイ、過般ノ豫算總會デ高橋大藏
ハ、此農村負擔輕減ノ問題ニ對シテ、堅白
異同ノ辯ヲ弄シテ居リマス、何トカ交付金
ト云フ制度ガ近來流行ルガ、自分ハ反對ダ、
管テ義務教育費ノ國庫負擔法ガ始マ、タ時
ニ、自分ハ心配シタ、アンナモノヲ幾ラヤ、
テモ減稅ニハナラヌ、地方町村ハ、ソレヲ
取ルコトニ依、テ、却テ豫算ノ増額ヲ來ス、
所謂減稅ニナラヌ、負擔ノ均衡ニナラヌ、
ダカラ自分ハ反對ダト云、タ風ナ議論ヲシ
テ居リマスケレドモ、是ハ今私ノ申シマシ
タヤウナ、其費途ニ向、テ嚴格ナル制限ヲ設
ケ、其制限ヲ犯ス者ニ向、テハ、嚴重ナル罰
則ヲ以テ參リマスナラバ、極メテ簡單ニ解
消スル、ダカラ吾々ハ此費途ニ對シマシテ
モ、極メテ嚴格ナル規定ノ下ニ、實行ヲ要
求スルノデアリマス

更ニ又此法案ノ一ツノ主張ハ、此法案ヲ
シテ三箇年間ノ暫定立法ヲラシムルコトデ
アリマス、農村全體ノ減稅ノ問題、負擔均
衡ノ問題ハ、實ニ我國ノ稅制一般ニ關スル
重大問題、隨テ其範圍ハ極メテ廣汎、其內
容ハ極メテ複雜、隨テ吾々ハ其根本的ナ稅
制整理ノ意圖スルノデアリマスガ、此稅制
整理ノ貫徹スル迄ニ、少クトモ三箇年ノ猶
豫ヲ置イテ、此猶豫期間ニ於テ農民ノ負擔
ヲ輕減シ、或ハ農村ノ負擔ノ均衡ヲ圖ラン
トスル、暫定的ナ立法デアル所ニモ、此法
案ノ重大ナル目的ガアルコトヲ御承知願ヒ
タイ、五月十五日事件ノ後ヲ承ケテ、日本
ノ國際的危機ニ對シテモ、或ハ國民經濟ノ
全面的ナ救済ニ對シマシテモ、思切、タ政治
ノ約束ヲセラレタル齋藤內閣ガ、何モシナ
イコトニ對シマシテハ、吾々ハ非常ナル憂
憤ヲ禁ゼザルモノデアアル、齋藤內閣ノヤ、
テ參リマスコトハ、例ヘバ內政會議、私
共極メテ善意ニ內政會議ヲ考ヘタイノダ
ガ、アノ內政會議ハ、初メ農村救済ノ爲ノ
會議デアラシイ、然ルニ此內政會議ガ
段々變化シテ參リマシテ、最後ニハ農
村救済ト云、タ風ナ、政治上ノ大任務カ
ラ遠ザカ、テシマ、テ、片々タル農林大臣
救済ニ墮落シタ、農林大臣ノ救済ニ墮落シ
タカラ、隨テ森下モノハ生レハシナイ、結
局內政會議ノ結論ハ、農村負擔調查會デア
リマス、言換ヘレバ是ハ內政會議ノ墮落ガ
生ンダ私生兒ナノデアアル、ダカラ農村負擔
調查會ガ何ヲヤ、テ居ルカ、此議會ノ始マル
前ニ於テハ、二三ノ新聞記事モ出マシタガ、
今ヤ杏トシテ其跡ナシ、結局アノ調查會
ハ、議會ノ答辯ニ對スル逃場ナノデアアル、
農村ノ責任ニ對スル拋棄ナノデアアル、私ハ

過般此議會ニ於テ、議員提出ノ地租法改正法案ニ對スル提案ノ説明ガアリマシタ時ニ、政府ノ向テ質問セントシタノデアリマスガ、總理大臣モ出ナイ、農林大臣モ出席シナイ、病氣ダト云フノデアリマシタガ、其病氣スラガ非常ナ疑問デアアル、アレハ齋藤内閣ノ没落直前ノ衰弱狀態デアルト云フコトヲ、痛感シタノデアリマスガ、其後齋藤内閣ノ運命ハ、吾々ノ豫想ニ對シテ、極メテ嚴肅ナルの中ヲ示シテ居ル、少クトモ吾々ノ聽カントスルコトハ、アノ農村負擔調査會ナルモノガ、一體何時マデニ調査ヲヤルノダ、調査ニ對スル時間ノ目標ハアリマセヌ、而モ假ニ調査ガ出來ル迄ハ、農民ニ向テ今ノ高過ギル税金、非常ニ過重ナル税金、之ヲ全部強要スル氣持デアラシイ、大體ノ調査ノ出來ル迄ハ、セメテ是ダケノ方法ヲ輕減スル、是ダケノ減額デ多少ノ言譯ヲスルト申シマスナラバ、其處ニ政治道徳ノ相當ナ敬意ヲ買フダケノ、手段ガ生レルノデアリマスケレドモ、齋藤内閣ハ之ヲ考ヘナイ、若シアノ調査會ニ依テ、一切ノ責任ヲ之ニ隱シ、一切ノ課稅ヲ之ニ依テ延バサント致シマスレバ、或ハ恐ル、政府ノ自慢スルヤウナ我國ノ農民ノ納稅觀念ガ、ドンナニ變革スルカト云フコトニ付テ、御互ニ眞劍ナル考察ガ必要デアリマス(拍手)齋藤内閣ガ日本ノ動亂ヲ計畫スル爲ニ、ア、云、タ調査會ヲ作、テ、之ニ依テ農民ヲ失望サセテ、サウシテ日本ノ動亂ヲ計畫スルナラ別問題デアルガ、總理大臣ガ才座成リデア、テモ、議會再開ノ勢頭ニ申シタヤウニ、本當ニ此非常時ヲ打開スルダケノ誠意ガ、一部デモアルナラバ、サウ言、タ我國農民ノ納稅觀念ニ、大變革ヲ招來スルヤウナ無誠意ト無策トハ、吾々國家ノ爲ニ斷ジテ反對スルノデアリマス

結局政府ハ特ムニ足ラス、私特ニ諸君ニ懇ヘタイノハ、政府特ムニ足ラスノデア

ルカラ、セメテ衆議院ノ權能ヲ發揮シテ、此議會デ、此劃期的ナ大法案ヲ直チニ通過セシメテ、サウシテ議會自ラ國民政治ニ當ルダケノ熱誠ト責任トヲ負ハレンコトヲ、衷心カラ希望スルノデアリマス(拍手)昨年ノ農民運動ヲ振返、テ見マス、特ニ七、九、十一月、或ハ帝國農會、或ハ町村長會、或ハ全國農會大會、或ハ全國町村長會大會ノ名ニ依テ、屢、大會ガ開カレマシタガ、此大會ノ第一ノ目的ハ、少クトモ農村負擔ノ輕減デア、タ、負擔均衡ノ要求デアリマシタ、此總テノ會合ニ私共出席シタガ、政民兩黨ノ諸君モ、其代表ヲ送ラレタ、サウシテ是等ノ代表ノ諸君ハ、此大會ニハ非常ナル誠意ノアルヤウナ顔付デ、此大會ノ決議ニ對スル贊成ノ意ヲ明ニシテ居ラマセ、私アノ贊成ノ意思ハ、決シテ大會席上ノ放言デハナイト思フ、斯ウ思フデ考ヘマス、最近政友會カラ、地方財政補整交付金ナル法律案ガ出テ居リマス、民政黨カラモサウ云、タ名前ノモノヲ、御提出ニナ、テ居ル、御提出ニハナ、テ居リマスガ、其内容ヲ拜見シマス、遺憾ナガラ不徹底、不十分デア、私共ハ議會ノ論争ガ唯觀念的ナ、抽象論的ナ、軍民離間ノ聲明ヲドウシロトカ、軍人ノ政治運動ヲスウシロトカ、或ハ議會ノ御利益ガドウダノ、政黨ノ信用ガスウダノ、サウ云、タ觀念遊戲的ナ既成政黨ノ自畫自讚論デハ、何ニモナラスコトヲ信ジタイノデアリマス、ドウゾ御互ニ本當ニ眞劍ニ、議會政治ノ達成ヲ期シ、政黨ノ信用ヲ回復シ、而シテ國民ノ議會ニ對スル眞劍ナル信用ヲ回復シヨウトスルナラバ、斯ノ如キ現實ノ具體案、國民同盟ノ主張スルヤウナ徹底シタル法案ニ對シテ、諸君ガ滿腔ノ贊成ヲシテ、此法案ヲ速ニ貴族院ヘ送、テ、而シテ衆議院ノ健全ニシテ、且ツ徹底シタル意思ノ達成ノ爲ニ、諸君ガ一臂ノ努力ヲナサレンコトヲ衷心カラ希望致シマシテ、私本

案提出ノ趣旨辯明ヲ終リマス(拍手)
○副議長(植原悦二郎君) 岡田忠彦君 (岡田忠彦君登壇)

○岡田忠彦君 私ハ同志四十五名ト共ニ提出致シマシタ、地方財政補整交付金法案ニ付テ御説明申上ゲマス、地方農村ノ稅ノ負擔ノ重イコト、又都市ノ地方トノ稅ノ負擔ノ、甚シク不均衡ヲ來シテ居ルト云フコトハ、世論ノ齊シク認メテ居ル所デアリマシテ、只今同僚由谷君ヨリモ詳シク御説明ガア、タ所デアリマス、私ハ少シク數字ニ互リマシテ、此點ヲ御説明申上ゲタイト存ジマス

稅ノ負擔ノ中デ最モ痛切ニ感ジマスルモノハ、申ス迄モナク直接稅デアリマス、最近ノ數字ニ依リマス、直接稅ノ國稅總額ハ三億デアリ、地方稅ノ總額ハ實ニ五億ニ達シテ居リマシテ、此點ヨリ見テモ、如何ニ地方稅ガ地方ニ重壓ヲ加ヘテ居ルカト云フコトハ、察スルニ餘リアル次第デアリマス、更ニ之ヲ詳カニ論ジマスレバ、國稅對市町村稅ノ割合ハ、國稅ノ百ニ對シテ、市町村ノ稅平均ハ實ニ百四十六デアリマス、然ルニ其中ノ市稅ハ百ニ付テ六十一、普通町村ハ百七十二、貧弱町村ニ至、テハ、實ニ三百八十四ノ數ヲ示シテ居ル次第デアリマス、又戸數割及ビ家屋稅附加稅ト、直接國稅トノ割合ヲ求メテ見マスルト、全國ノ平均ハ國稅ニ對シテ七七%デアリマス、市部ニ於テハ是ガ三七%、普通ノ町村ニ於テハ九〇%、貧弱町村ニ於テハ實ニ二三%ノ數ヲ示シテ居リマス、而モ此重キ地方稅ナルモノハ、各地方ニ依テ非常ナ區別ガアル、差異ガアルト云フコトハ、見通スコトガ出來マセヌ、試ミニ地方稅目中最モ目立、所ノ土地ノ課稅、竝ニ戸數割ニ付テ點檢致シテ見マス、地租ノ附加稅ハ市部ニ於テハ、一般ニマダ其制限ニ達シテ居リマセヌ、町村ノ平均ニ於テハ、制限外二割五分、府

縣ニ至、テハ、制限外實ニ七割ニ達シテ居ル次第デアリマス、戸數割ニ付テ之ヲ見ルニ、各府縣別ノ平均ヲ描ヘテ見ルト、其府縣ノ中ノ最高ノモノガ二十圓八十二錢一厘、最低ノモノニ至、テハ六圓八十一錢七厘、又全國ヲ通覽シテ見ルト云フト、最高ノ戶數割ハ僅ニ八十四錢、斯様ニ非常ナ區別ガアリマス、然ラバ此高イ率ヲ納メテ居ル所ノ府縣町村ノ住民ハ、負擔力ガ強イカト申シタナラバ、大體ニ於テ之ニ反シテ居ル、戶數割或ハ市町村附加稅ノ重キモノハ、他ニ財源ガナイ爲ニ、而モ府縣町村ノ支出ハ、一定ノ分量ガ決、テ居ルガ爲ニ、已ムナク戶數割力若クハ制限外ノ課稅ニ之ヲ求メテ居ル、即チ其土地ノ住民ニ對シテハ、非常ナル負擔ニ及ンデ居ルト云フコトハ、是ハ少シク地方ノ實情ヲ考察スル人ハ、直チニ首肯スル所デアルト私ハ存ジマス(拍手)此不均衡ト云フモノガアルガ爲ニ、今日市町村府縣ニ於テハ稅ガ重イ、生活ガ壓迫サレルト云フ所ノ聲ガ、各方面ニ起、テ居ルモノデアルト信ズル者デアリマス、即チ此不均衡ノ間ニ不平ノ聲ガ起リ、困難ノ叫ガ立ツノデアリマスガ、其原因ハ何處ニアルカ、様々ノ原因ガアルノデアリマセウケレドモ、畢竟スルニ我國ニ於ケル富竝ニ經濟活動ノ分布ト云フモノガ、普遍的ニナ、テ居リマセヌ、且ツ近來ソレガ甚シクナリ、又將來モ益、其勢ヲ助長セント致シテ居ル所ノ、都市集中ノ趨勢ト云フモノガ、此不均衡ニ對シテ拍車ヲ掛ケテ居ルモノデアルト存ジマス、加之近來ノ不景氣ハ、一層此上ニ非常ナル重サヲ加ヘテ居ル、之ヲ政治上ニ見ルモ、思想ノ上ヨリ考察致シマシテモ、亦自治ノ基本ヲ確立スルト云フ上カラ見マシテモ、是ガ匡救ハ洵ニ國家焦眉ノ急デアルト言ハナケレバナリマセヌ

然ラバ之ニ應ズルガ爲ニ、道府縣市町村

ノ經費ヲ節約シテハ如何デアアルカ、固ヨリ節約スベキモノハ、節約ヲシナナケレバナラヌケレドモ、此節約ニハ自ラ限度ト云フモノガアリマシテ、即チ教育、土木、衛生、又府縣ニ於テハ警察ノ費用、斯ノ如ク一定ノ單位ニ於ケル仕事ト云フモノハ、ドウ致シテモ各地方自治體ニ於テ致スノデアリマスカラ、思フ程ノ節約ガ出來ナイ、ノミナラズ、續ク所ノ不景氣ノ結果、道府縣市町村ニ於テハ、出來ルダケノ節約ハ既ニ致シテ居ル、又當該官廳ニ於テモ監督ハ忽セシテ居ラヌト考ヘマスルガ、之ニ加フルニ、此不景氣ノ結果トシテ、或ハ救護費ナルモノガ増シテ參ル、或ハ小學校ノ教員ノ恩給ガ年々累加致シテ來ル、或ハ又此時局匡救費ノ爲ニ、更ニ各方面ニ於テ相當ノ負擔ガアルト云フヤウナ譯デアリマスルカラシテ、經費ハ却テ自然ニ増加スルノ趨勢コソアレ、中々之ヲ緊縮スルコト云フコトハ、今日ハ困難ノ情勢ニ在ルト言ハナケレバナリマセヌ、ノミナラズソレノ理由アルコトデアリマセウケレドモ、國ノ事務ノ委任ト云フコトガ、之ニ對スル經費伴ハズシテ際限ナク行ハレ、尙ホ更ニ之ニ加フルニ、或ハ獎勵費、或ハ補助費ノ形ニ於テ、動モスレバ却テ町村ノ負擔ヲ重カラシメル所ノ形トナテ居リマス、之ヲ救フニハ、ドウ致シテモ各市町村ノ實力ニ應ジテ國費ノ全體ヲ割イテ、之ヲ補助スルコト云フ以外ニハ、私ハ方法ハナイモノト考ヘルソデアリマス(拍手)然ラバ此交付金ナルモノハ、國稅並ニ地方稅ノ根本的ノ改革ヲ俟テ、若クハソレト同時ニ行フテハドウカト云フヤウナ議論ガ多イヤウデアアル、併ナガラ國民ノ負擔ノ均衡ヲ圖ルニ當リマシテハ、固ヨリ稅制ノ改良ノ必要ナコトハ認メルガ、地方稅ニ關スル限リハ、先以テ本制度ノ精神ヲ發揮致シマシテ、地方財源ノ整調ヲ行フト云フコトヲ致サンケレバ、如何ナル稅

制、財政ノ整理ヲ致シマシテモ、地方ノ窮乏ハ救ヒ得ナイモノデアルト私ハ信ジマス(拍手)殊ニ貧弱町村ニ於テハ輕減スベキ何モノモ今日ハナイ、又強ヒテ輕減ヲ行ヘバ、先年地租ノ輕減ヲ行フ時ノヤウニ、却テ地方ハ其財源難ニ苦シマシテ、其結果ハ無理ナ稅ガ行ハレル、即チ戶數割ガ増シテ來タリ、或ハ制限外課稅ガ取ラレルト云フコトニナリマシテ、却テ其結果ハ宜クナイ、又所謂兩稅ノ委讓、即チ我黨ノ年來ノ主張デアリ、未ダ實行ニ移サレヌモノデアリマスルガ、此兩稅ノ委讓固ヨリ可デアルト思フガ、此兩稅ノ委讓ヲ致シマシテモ、尙且ツ只今申ス所ノ地方財政ノ窮乏ハ救フコトガ出來ナイ、何故ナラバ此兩稅ノ委讓ハ、實力ニ正比例スルモノデアリマスカレドモ、地方ノ要求ハ却テ之ニ反比例シテ居ル、此事實ヲ認メタナラバ、此方法ノミヲ以テシテハ、今日ノ窮乏ヲ救ヒ得ザルコトハ明瞭デアリマス然ラバ此地方ニ對スル補整金ノ財源ハドウスルカ、其金額ハドウデアアルカト云フコトニナリマス、吾々ハ先以テ地方ノ稅ノ總額、五箇年間ノ平均ト云フモノヲ目安ト致シテ、其一分ニ下ラザル額ヲ補給金ニ與ヘタイト思ヒマス、即チ現狀ニ於テ言ヘバ五千七百圓前後ノ金デアリマス、財源ハ如何ニ致スカ、吾々ノ考案ニ依リマス、云フト、第二種所得稅、資本利子稅、相續稅、此三稅ニ對シテ適當ナル増加ヲ行ヒ、増率ヲ致シ、又奢侈稅ヲ起シテ之ヲ補フ、前申上ゲマシタ所ノ第二種ノ所得稅、資本利子稅、相續稅、此三者ニ對シテハ諸君御承知ノ通りニ附加稅ガ課シテアリマセヌ、即チ他ノ稅ニハ附加稅ガアリ、之ニハ附加稅ガナイト云フコトハ均衡ヲ失テ居リマス、然レドモ是ハ技術ノ點ヨリ致シマシテ、各道府縣、各市町村ノ任意ノ附加稅ノ徵收ニ委スコトハ出來マセヌ、故ニ技術ノ點ヨリ阻マレテ今日附加稅ガナイトデ

アルカラシテ、此附加稅ノナイト云フ部分ヲ國稅ト致シマシテ増徴致シ、ソレニ加フルニ奢侈稅ヲ新ニ起シマシテ此財源ヲ求メ、其以外ニ於テ尙ホ獎勵金、補助金、斯様なモノニ對シテ適切ナル整理ヲ行フ、之ニ依テ只今申ス如キ稅總額一割以上ノ財源ヲ求メ、其配分ハ如何ニスルカ、道府縣市町村ノ間ニハ各、其地方稅ノ總額ヲ目安ト致シマシテ按分比例ヲ致スノデアリマス、今日ノ現狀ニ於テハ恰モ道府縣ニハ十分ノ四、市町村ニハ十分ノ六ト云フコトニナルヤウデアリマス、諸君其道府縣並ニ市町村ノ間ニ於テハ之ヲ如何ニ分ツカト云フコトハ、法案ニアリマス如クニ、先以テ一般的ニ其中ノ三分ノ一ヲ與ヘルノデアリマス、其殘リ三分ノ二ハ各道府縣市町村ノ貧弱ノ程度ニ依リ、各種ノ標準ヲ求メテ之ヲ配付スル譯デアリマス、即チ以上ノ說明ニ依テ御諒得ヲ得タト存ジマスルガ、此法案ノ當面ノ目的トスル所ハ地方稅ノ輕減デアリマス、地方稅輕減ノ爲ノ給與ニ充テ、且ツ地方中央隔離ノ源ヲ絶ツト云フコトガ當面ノ目的デアリマス、第二ハ將來ノ對策ト致シテ、自治體ノ事務ノ擴張、擴充ヲ致ス所ノ資源ヲ之ニ與ヘテ、自治ノ根柢ヲ深カラシメ、之ヲ以テ國家ノ隆興ニ資セントスルモノデアリマス、政府ハ此重要ナル時ニ臨ンデ、而モ此重要ナル問題ニ對シテモ、内輪デハ色評議ヲ致シテ居ルヤウデアリマスカレドモ、踏阻巡ヲシテ何等ノ經綸ヲ立テズ、又勇斷ヲ缺イテ居リマス、吾々ハ政府ノ此有様ヲ見テハ、此法案ヲ已ムナク提出シナケレバナラヌ譯デアリマス、願クハ諸君ノ御協賛ニ依リマシテ、速ニ此案ノ成立スルコトヲ希望致スノデアリマス(拍手)

○副議長植原悦二郎君 本案ニ對シテハ質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許可致シマス——松岡俊三君登壇

○松岡俊三君 我々多年要望シテ居リマシタ此地方財政補整交付金法案ノ、玆ニ我ガ同志ニ依テ提出セラレタルコトヲ非常ニ喜ブ者デアリマス、私ハ此壇上ヨリ特ニ御尋シテ置カケレバナラヌコトハ、陸軍ニ於テハ第二師團管下、第七師團管下、第八師團管下ニ向テハ、給與令ガ特別ニ出來テ居ルノデアアル、何ヲ物語ルカト申シマスルト、第二、第七、第八師團管下ハ、今日東京ガコンナ風ニナッテ居ルケレドモ、此管下ニ行クナラバ殆ド交通杜絶セラレテ居ルト云フヤウナ、現實ノナマノシイ問題ガアルコトヲ認メテ、獨リ陸軍ノミニ於テハ給與令ガ別ニナッテ居ルノデアアル、我ガ日本ノ政治ニ於テハ、唯獨リ陸軍ノミガ第二、第七、第八師團管下ノ給與令ガ別ニ出來テ居ルノデアアル、此法案ヲ見マス「第七條政府ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ特ニ必要アリト認ムル市町村ニ」云々、特ニ必要アリト認ムルト云フコトヲ申サレテ居リマスカラ、第二、第七、第八師團管下ニ陸軍ガ給與令ヲ別ニ差別的ニシテ居ルト云フ工合ニ、先ツ本案ニ於テモ實力及課稅ノ力ノナイ者ノミニ交付金ヲ與ヘルモノデナクシテ、其以上ノ特別ナル、即チ第二、第七、第八師團管下ノ、日本ノ特別ナル地方ニ對スル所ノコトヲ、考慮セラレテ居ランケレバナラヌト思フノデアリマス、是ハ國民同盟カラ出サレマシタ所ノ農村救濟負擔均衡法ニモ矢張關聯スル所ノモノデアテ、本法案ノ施行ニ付テハ殆ド勅令ガ之ヲ決スルノデアアル、實ニ政府ノ決心如何ニ依テ此法ガ活キルノデアアル、勅令ニ依テ定ムル所ノモノバカリ多イノデアアル、然ルニ日本ノ今日マデノ劃一的ナ政治ノ中ニ、獨リ陸軍ノミガ第二、第七、第八師團管下ガ明瞭ニ給與令ガ變テ居テ、東北、北海道及北陸四縣ニ對シテハ特別ナル政治ヲシテ居ルノデアアル、此法案ガ實力及課稅力、是ダケデ

行キマス云フト、例ヲ引キマス山形縣酒田市ノ如キハ、日本デ有名ナ本間ガ居ル、斯ウ云フ大財閥ノ居ル所ノ立派ナル市デアルカラ、ソレ程力ガナイト云フコトハ言ヘヌノデアル、併ナガラ同ジ一萬圓ノ金ヲ持テモ、今ノ陸軍ノ給與令ニ依ル所ノ第二、第七、第八師團管下ニ於テ一萬圓持テ居ル者ト、其以外ノ一萬圓ヲ持テ居ル所ノ者、之ヲ單ニ資力及課税ノ力ノミニ於テ同一ニ考ヘルト云フコトハ、本當ノ日本ノ政治ノ實情ニ即シテ居ラナイモノデアル、過去ニ於テハ斯ウナリテ居ルノデアル、故ニ新ナル法案トシテ實ニ能ク日本ノ各地方ヲ打診シテ、弱イ所ニハ力ヲ與ヘ、強イ所ニハ、即チ第八條ニハ「政府ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ財政困難ナラスト認ムル北海道、府縣及市町村ニ對シテハ本法ニ規定スル標準ニ依ラス交付金額ヲ減額スルコトヲ得」ト斯ウアリマス、斯ウ云フ按配ニ參リマス、資力及課税力ト云フコトニミ參ルヤウナ工合ニナリハシナイカト思フノデアル、併シ前申上ダヤウナ工合ニ、陸軍デ第二、第七、第八師團管下ダケハ特別ナ給與令ヲ有タンケレバナラヌ程、規定センケレバナラヌ程日本ハ實ニ地理的、氣象的ニ環境ヲ全ク異ニシテ居ルノデアリマス、新ナル斯ウ云フ立法ガ出來ルノデアリマス、新ナルシテ、只今岡田君ノ御説明ノアリマシタ此補整交付金ニ於テ、第七條ニ於テ御提案者ノ御趣旨ノ在ル所ハ、或ハ此處ニ在リハセヌカト思フノデアリマス、私ハ公ナル此壇上ニ於テ、陸軍ガ第二、第七、第八師團管下ニ向テ、アノ給與令ヲ別ニシテ居ルト云フ此狀態ヲ認識シテ、日本ノ政治ヲ劃一的デヤナク、……更ニ負擔ベカリデヤナク、課税ベカリデヤナク、資力ベカリデヤナク、此特別ナル狀況ヲ如何様ニ御認識ニナリテ居レルカ、國民同盟ノ由谷君竝ニ岡田君カラ御答辯ヲ願

ヒタイノデアリマス、同時ニ政府ニ對シテ御尋スルノデアル、只今岡田君ノ御説明ノヤウナ具合ニ、内部的ニ於テハ政府ハ頗ル熱望シテ居ルカノ如クデアル、全國町村長亦之ヲ熱望シテ、本年ノ如キハ各町村舉テ之ヲ請願シテ居ルヤウナ有様デアル、內務當局未ダ其熱力ガ足ラナカッタノカモ知レマセヌケレドモガ、遂ニ之ヲ實現スルニ至ラナカッタノハ、內務當局ノ爲ニ頗ル私共ハ遺憾トスル所デアリマス、全日本ヲ本當ニ同一時刻ニ、北海道ノ端カラ薩摩ノ端マデ同一ニ見ルコトハ出來ナイ、今日斯ウシテ居、デモ昨日ノ新聞、今日ノ新聞ヲ見テモ、今ヤ北陸方面ニ於テハ汽車モ動カナイト云フヤウナ所、家ガ潰レテ居ルト云フヤウナ所ガ澤山アル、モウ實ニ一寸先モ分ラナイト云フヤウナ狀況ニナリテ居ル、斯ウ云フヤウナ打診ヲシナケレバナラヌ此問題ニ付テ、唯勅令ニ依リテ殆ド效力ヲ達シテ來ル所ノモノデアル、故ニ吾々議政府ニアル所ノ者ハ、勅令マデ立入ルコトハ出來ヌノデアリマス、政府當局ハ此勅令ヲ定メル場合ニ於テ、如何様ニ之ヲ思フカ、多分義務教育費國庫負擔法ノ施行細則ノヤウナ工合ニナルベキ運命ノ法案デアリマス、故ニ、私ハ此際ニ於テ陸軍ノミガ第二、第七、第八師團管下ニハ、陸軍給與令ヲ劃然トシテ別ニシテ、ヨリ多ク給與シテ居ルト云フ狀態ヲ、內務當局ハ如何ニ認識セラレテ居ルカ、此認識ニ依リテ、此補整交付金ノ交付セラレルヤウナ工合ニ規定セラレ、カ、勅令上ニドウ云フ御認識ヲ以テ臨マレアルカ、之ヲモ併セテ政府ニ御尋スル次第デアリマス（拍手）是ハ實ニ單ナル問題デアリマセヌ、極メテ重要デアリマス、故ニ、特ニ岡田忠彥君及ビ國民同盟ノ由谷義治君ニ向テ、ドウ云フ方針デアルカ、是ハ眞ニ日本ノ政治ノ根本ノ改革ニモナル一端デアリマス、故ニ、明確ナル御答辯ヲ切ニ國民同

盟ニ向テモ御願スル次第デアリマス（拍手）
○由谷義治君 此席カラ御許シテ願ヒマス
○副議長（植原悦二郎君） 許可致シマス
○由谷義治君 只今松岡サンカラ特ニ東北ヲ中心トシテ御質問ガアリマシタガ、私共此法案ノ提案理由書ノ中ニ「資力其ノ他ノ事情ニ依リ」ト云フコトヲ書イテアリマスガ、アナタガ仰シヤルコトハ「其ノ他ノ事情」ノ中ニ包含スルコト、考ヘマス、隨テ是ガ具體的條件ニ對シマシテハ、オ互ニ胸襟ヲ披イテ、聽テ開カレル委員會デ、諸君ノ衆智ヲ集メテ、然ル後ニ決定シタイト思フ、尙ホ勅令ニ付テノ御意見ガアリマシタガ、全然同感デアリマス、一體今ノ政治ガ急所、具體問題ニナッテ來ルト、悉ク勅令主義ト云フコトハ、私共根本觀念ニ於テ反對デアリマス、隨テ委員會ニ於テハ出來ルナラバ、勅令事項ニ付テモ、條文ヲ明ニシ、字句ヲ正シテオ互ノ意思ガ直チニ法律化スルコトヲ期待シタイト考ヘテ居リマス、ドウゾ其意味ニ於テ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス（拍手）
○岡田忠彥君 本席カラ御許シテ願ヒマス
○議長（植原悦二郎君） 許可致シマス
○岡田忠彥君 只今ノ松岡君ノ御尋ニ對スル答辯ハ、由谷君ノ御答辯ト同ジコトデアリマスガ、唯條文ニ付テ簡單ニ申上ゲマス、私共提出ノ法案ノ第五條竝ニ第七條、即チ第五條ハ道府縣ニ對スル配付方デアリマシテ、第七條ハ市町村ニ對スル配付方ノ件デアリマスガ、何レモ其道府縣、市町村ノ特殊ノ事情ニ鑑ミ、其必要ガアルモノニ對シテハ、交付金ヲ増加致スト云フコトノ途ヲ開イテ居ルノデアリマス、例ヘテ言ハバ松岡君ノ御郷里ノヤウニ、雪ノ害ノ激シイ所デアルトカ、或ハ水害、或ハ旱害、或ハ離島ト云フヤウナ特殊ナ事情ノアル處ニ對シテハ、特ニ増スコトノ途ヲ開イテ居ルノデアリマス、又第八條ニ於テハ、財政ガ困難デナイト云フ所モアリマス、例ヘバ稅外收

入ノミヲ以テ其町村稅ヲ賄ッテ居ル町村モアルヤウナ次第デアリマス、斯様ナ村ニ對シテハ強ヒテ配付スル必要アリマセヌ、故ニ減額スル途ヲ開イテ居ル譯デアリマス、其他ハ何レ委員會ニ於テ詳細ニ御説明申上ゲマス（拍手）
（政府委員勝田永吉君登壇）
○政府委員（勝田永吉君） 松岡君ノ御質問ニ對シマシテ御答申上ゲマス、此法案ガ兩院ヲ通過致シマシテ、御裁可ニナリマシタ曉ニ於キマシテハ、必然ノ結果ト致シマシテ勅令ガ發布セラレナケレバナラヌノデアリマスガ、若シ左様ニナリマシタ曉ニ於キマシテハ、只今御述ニナリマシタ御言葉ヲ重要ナ參考ニ致シマシテ、善處致シタイト考ヘテ居リマス
○副議長（植原悦二郎君） 質疑ハ終了致シマシタ
○青木雷三郎君 日程第七及ビ第八ノ兩案ヲ一括シテ、議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○副議長（植原悦二郎君） 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
（異議ナシト呼フ者アリ）
○副議長（植原悦二郎君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ
○青木雷三郎君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス
○副議長（植原悦二郎君） 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
（異議ナシト呼フ者アリ）
○副議長（植原悦二郎君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、大會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後五時八分散會